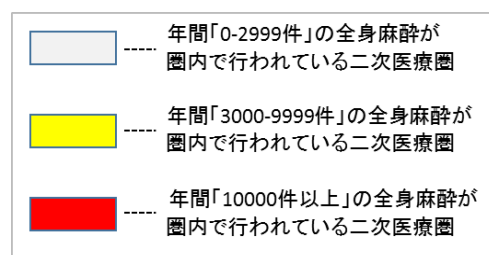
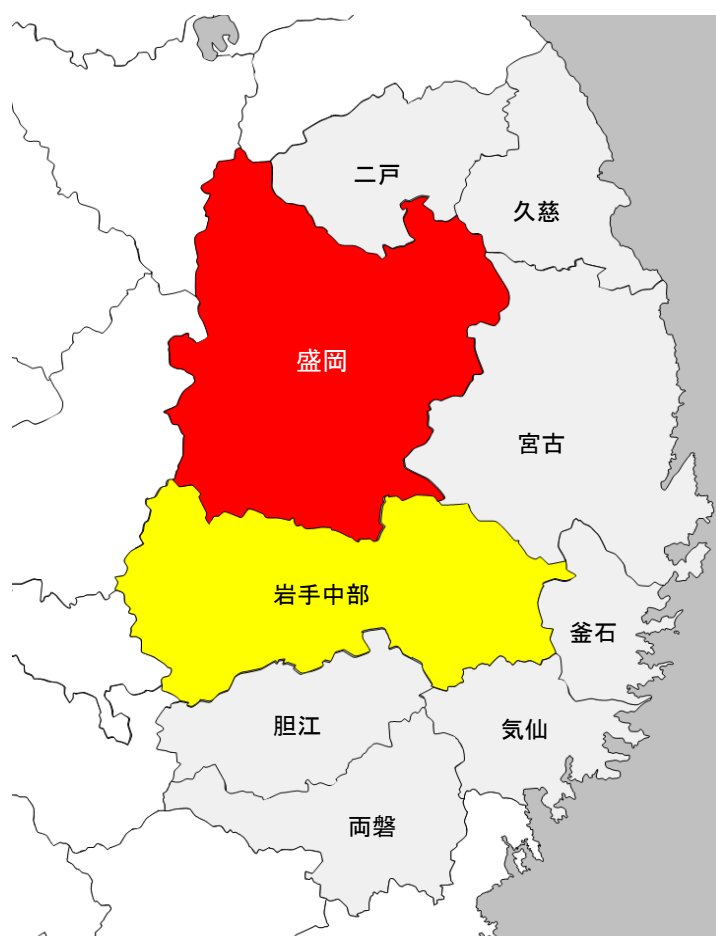


3. 岩手県



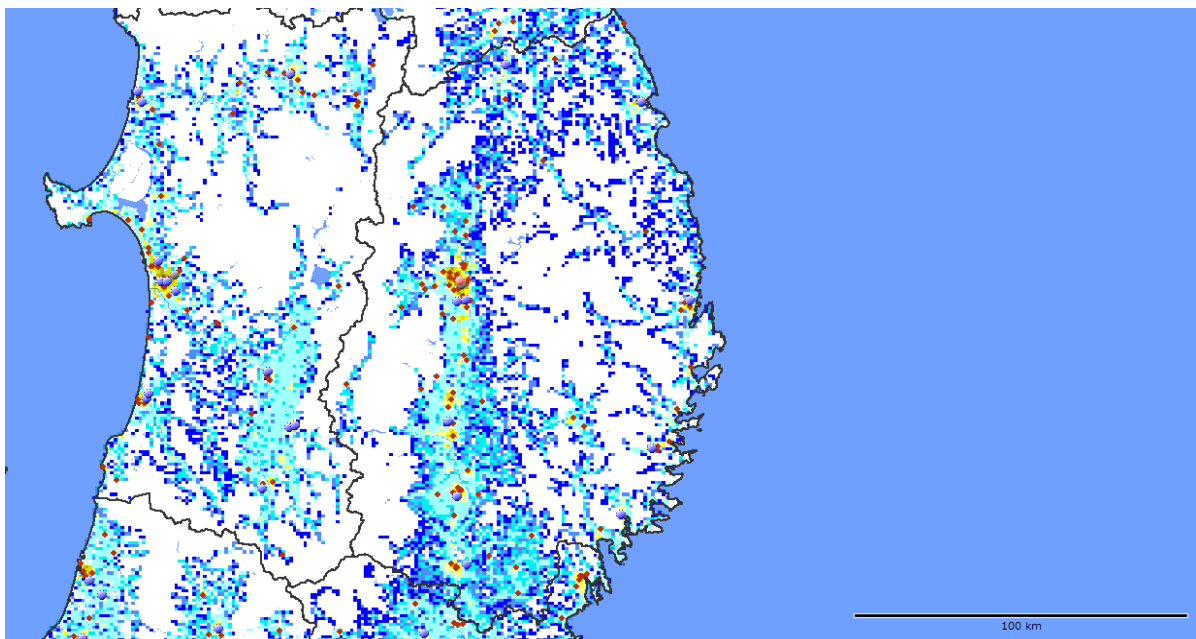
3.岩手県(2019年版)

目次

岩手県	3	-	3
資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料	3	-	8
1. 盛岡医療圏	3	-	26
2. 岩手中部医療圏	3	-	31
3. 胆江医療圏	3	-	36
4. 両磐医療圏	3	-	41
5. 気仙医療圏	3	-	46
6. 釜石医療圏	3	-	51
7. 宮古医療圏	3	-	56
8. 久慈医療圏	3	-	61
9. 二戸医療圏	3	-	66

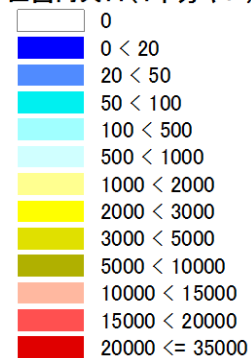
3. 岩手県

人口分布（1km²区画単位）



1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は
中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が
少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS
Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(岩手県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 岩手県は、総人口約1,280千人(2015年)、面積15,275km²、人口密度は84人/km²である。

***人口の将来予測：** 岩手県の総人口は2025年に1,162千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に958千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の208千人が、2025年にかけて236千人へと増加し(2015年比+13%)、2040年には244千人へと増加する(2025年比+3%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 岩手県の一人当たり医療費(国保)は372千円(偏差値54)、介護給付費は278千円(偏差値57)であり、医療費はやや高く、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 岩手県の一人当たり急性期医療密度指数は1.29、一人当たり慢性期医療密度指数は0.88で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 岩手県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、19,766人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が14,497床(偏差値56)、高齢者住宅等が5,269床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、17,517人(75歳以上1,000人当たりの偏差値55)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設61、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム38、軽費ホーム56、グループホーム48、サ高住43である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、2,486人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-7%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移

【人口と医療需要】

岩手県の総人口は、2005年1,385,041人が、2015年に1,279,594人と8%減少し、2025年の人口が1,161,638人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

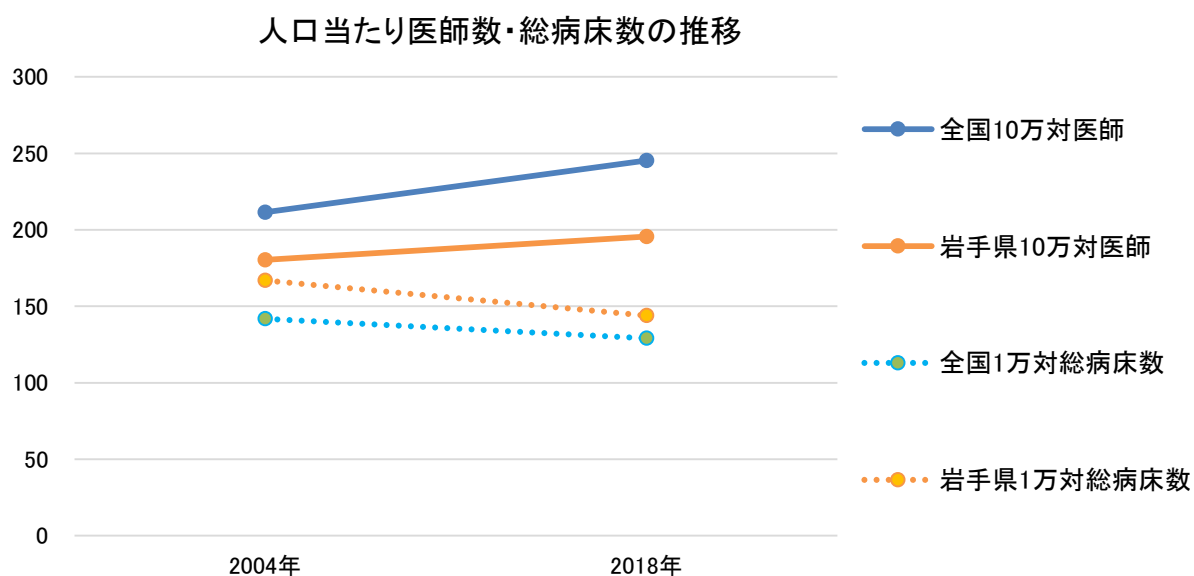
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が108（人口10万人当たり7.8病院（全国平均7.1）偏差値52）であったが、2018年に93（人口10万人当たり7.3病院（全国平均6.6）偏差値52）となり、14年間で15病院が減少した。

2004年の診療所数が914（人口10万人当たり66診療所（全国平均76）偏差値45）であったが、2018年に882（人口10万人当たり69診療所（全国平均80）偏差値44）と、32診療所が減少した。

2004年の総病床数が23,126床（人口1万人当たり167（全国平均142）偏差値54）であったが、2018年に18,424床（人口1万人当たり144（全国平均129）偏差値53）と、4,702床の減少、率にして20%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

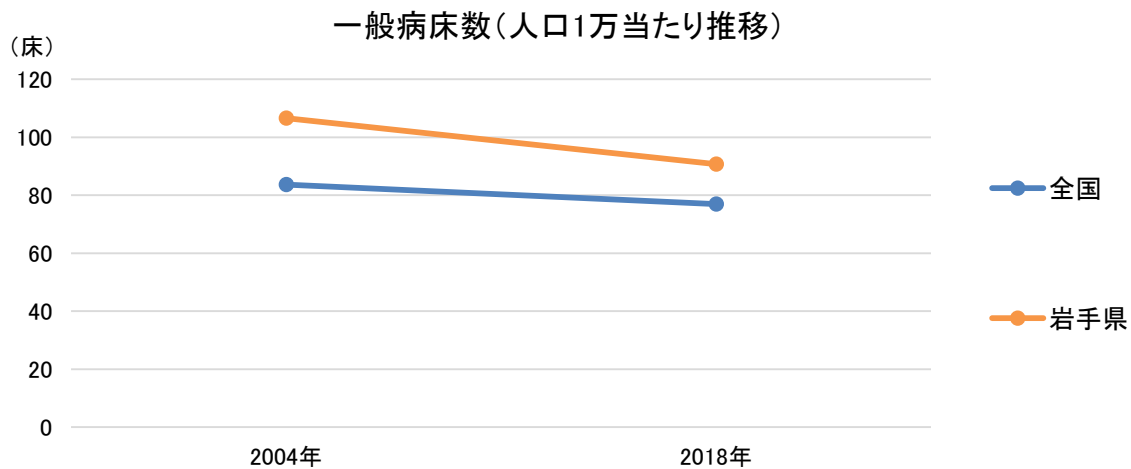
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,499人（人口10万人当たり180人（全国平均212人）偏差値46）であったが、2018年に2,503人（人口10万人当たり196人（全国平均245人）偏差値45）と、4人の増加、率にして1%未満の増加（全国平均15%の増加）が見られた。



3.岩手県(2019年版)

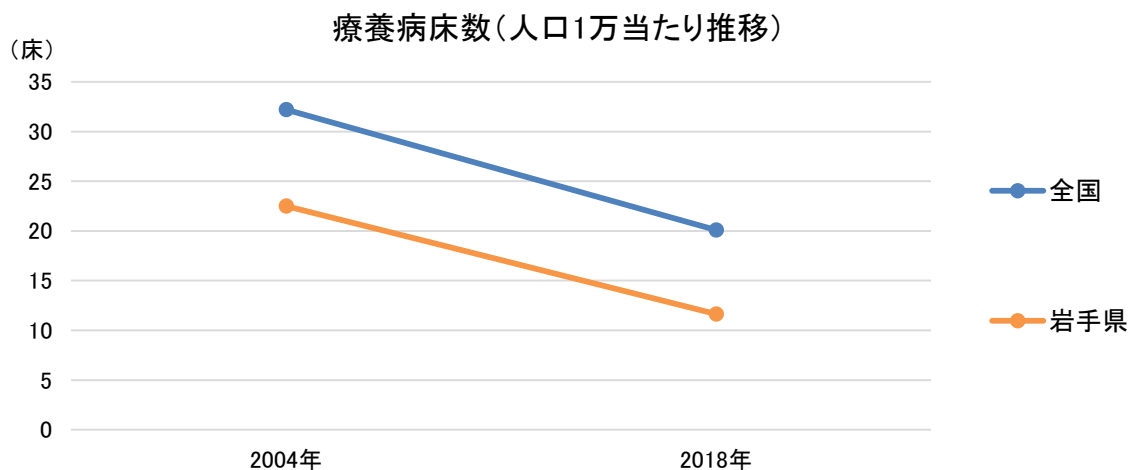
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14,758床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2018年に11,601床(人口1万人当たり91(全国平均77)偏差値55)と、3,157床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



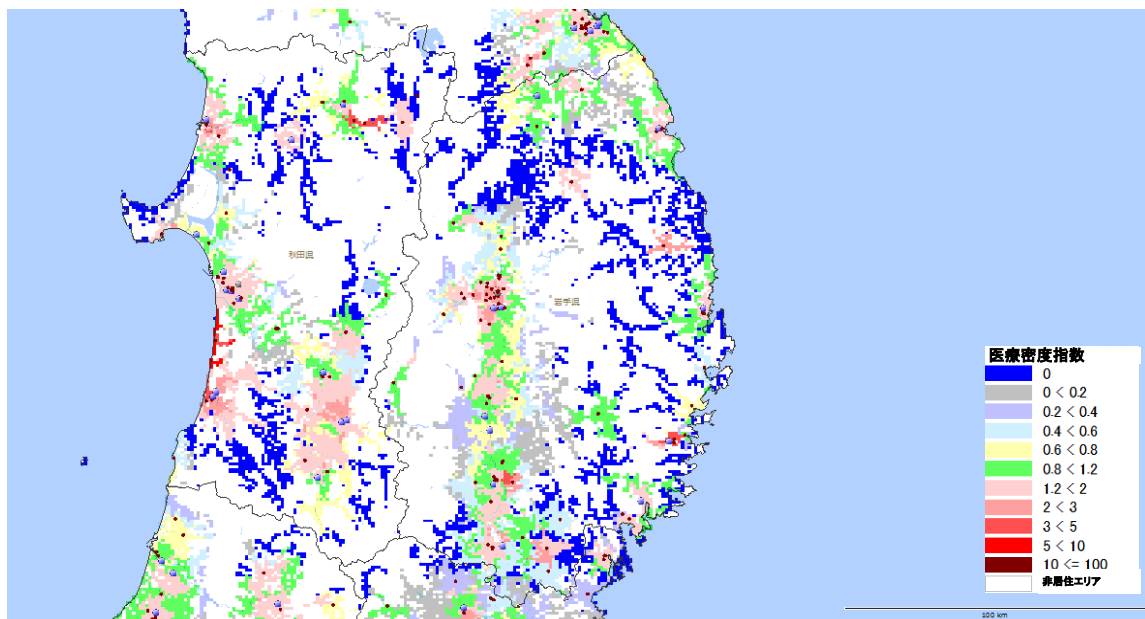
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が3,622床(75歳以上1,000人当たり23(全国平均32)偏差値44)であったが、2018年に2,428床(75歳以上1,000人当たり12(全国平均20)偏差値42)と、1,194床の減少、率にして33%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



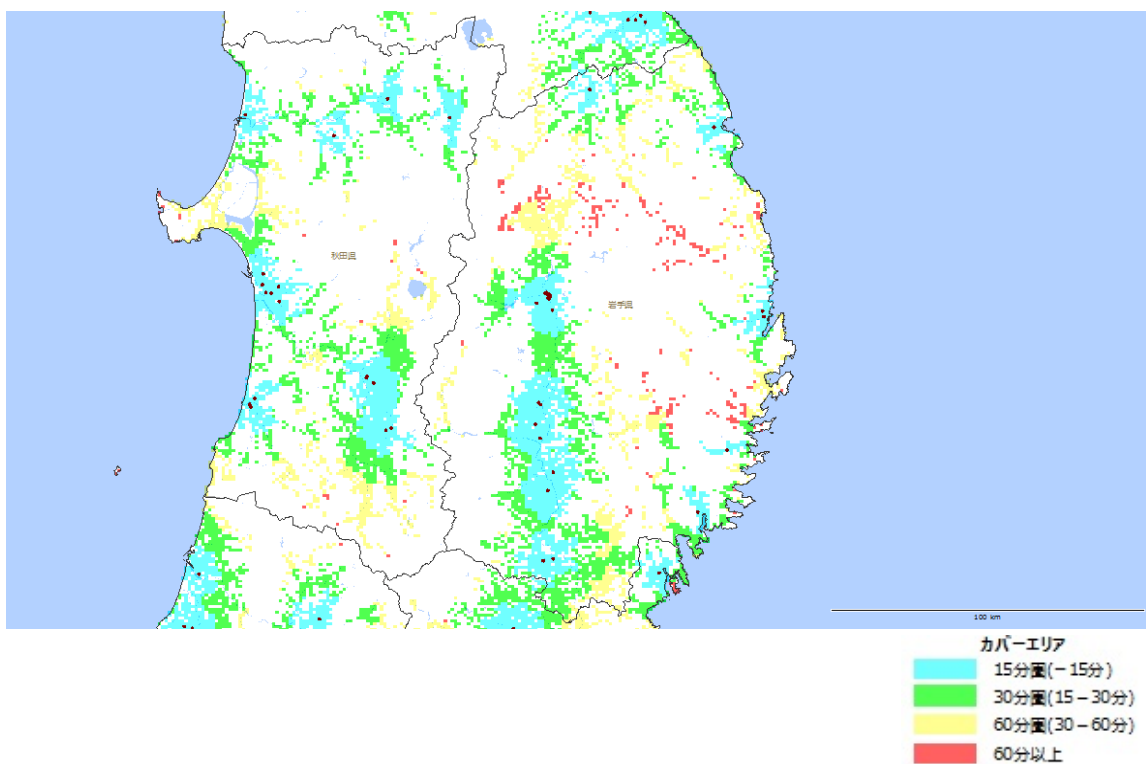
(岩手県) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 3-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	-4%	-9%	34%	3%
岩手県	1,280	32位	15,275	2位	83.8		30%	1,162	958	208	236	244	-9%	-18%	13%	3%
盛岡	477	37%	3,642	24%	130.9	地方都市型	26%	453	396	63	80	90	-5%	-13%	27%	13%
岩手中部	225	18%	2,763	18%	81.5	地方都市型	30%	207	175	37	41	42	-8%	-15%	11%	2%
胆江	135	11%	1,173	8%	115.4	過疎地域型	32%	121	98	24	26	26	-10%	-19%	8%	0%
両磐	129	10%	1,320	9%	98.1	過疎地域型	33%	114	91	25	26	27	-12%	-20%	4%	4%
気仙	64	5%	889	6%	71.4	過疎地域型	36%	54	40	12	14	13	-16%	-26%	17%	-7%
釜石	49	4%	641	4%	75.8	過疎地域型	35%	41	30	9	10	8	-16%	-27%	11%	-20%
宮古	86	7%	2,671	17%	32.1	過疎地域型	35%	73	54	16	17	15	-15%	-26%	6%	-12%
久慈	59	5%	1,077	7%	55.0	過疎地域型	32%	52	40	10	11	12	-12%	-23%	10%	9%
二戸	56	4%	1,100	7%	50.6	過疎地域型	35%	46	33	11	11	10	-18%	-28%	0%	-9%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月															

資_図表 3-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	-18.2%
岩手県	1.29	0.88	17,868	19,065	-6.7%
盛岡	1.83	1.19	5,787	6,462	-11.7%
岩手中部	0.86	0.49	3,162	3,269	-3.4%
胆江	1.08	1.07	1,770	2,061	-16.4%
両磐	1.07	0.54	2,177	2,039	6.3%
気仙	1.03	0.23	958	1,138	-18.8%
釜石	1.73	0.75	785	817	-4.1%
宮古	0.86	1.04	1,231	1,443	-17.2%
久慈	0.58	0.41	987	902	8.6%
二戸	0.94	0.39	1,011	934	7.6%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 3-3 国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
岩手県	372	54	0.994	147	53	1.014	200	55	0.986	278	57
盛岡	381	56	1.019	149	53	1.019	204	57	1.013	281	58
岩手中部	360	51	0.932	136	49	0.898	200	55	0.959	276	56
胆江	352	49	0.917	132	48	0.880	195	51	0.939	251	49
両磐	347	48	0.906	137	49	0.910	189	48	0.915	290	60
気仙	395	59	1.035	159	57	1.064	212	61	1.029	282	58
釜石	449	71	1.149	201	70	1.311	223	68	1.055	263	52
宮古	401	60	1.054	174	61	1.164	206	58	1.004	291	61
久慈	347	48	0.965	148	53	1.055	178	42	0.919	263	52
二戸	341	47	0.917	132	48	0.903	189	48	0.943	303	64
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成29年度介護保険事業状況報告(年報) 平成29年度累計(平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで) ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。										

資_図表 3-4 後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
岩手県	755	36	0.806	352	39	0.741	378	37	0.880
盛岡	855	44	0.910	409	44	0.863	415	46	0.958
岩手中部	724	33	0.771	315	35	0.661	385	39	0.897
胆江	757	36	0.800	360	39	0.750	369	34	0.853
両磐	678	29	0.716	306	34	0.632	350	29	0.818
気仙	670	29	0.716	294	33	0.618	354	31	0.829
釜石	777	37	0.827	386	42	0.819	367	34	0.848
宮古	753	35	0.805	379	41	0.804	355	31	0.826
久慈	622	25	0.661	284	32	0.595	321	22	0.744
二戸	656	27	0.694	298	33	0.619	342	27	0.794
出典	<一人あたり医療費>平成29年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

3.岩手県(2019年版)

資_図表 3-5 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
岩手県	93	1.1%	7.3	52	882	0.9%	69	44
盛岡	39	42%	8.2	54	365	41%	77	48
岩手中部	13	14%	5.8	48	154	17%	68	44
胆江	9	10%	6.7	50	103	12%	76	48
両磐	10	11%	7.7	53	84	10%	65	42
気仙	3	3%	4.7	45	37	4%	58	38
釜石	6	6%	12.4	65	25	3%	51	35
宮古	6	6%	7.0	51	45	5%	52	35
久慈	4	4%	6.7	50	33	4%	56	37
二戸	3	3%	5.4	47	36	4%	65	42
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 3-6 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
岩手県	882	0.9%	69	44	781	0.8%	61	43	101	1.5%	7.9	54
盛岡	365	41%	77	48	321	41%	67	46	44	44%	9.2	57
岩手中部	154	17%	68	44	139	18%	62	43	15	15%	6.7	52
胆江	103	12%	76	48	93	12%	69	47	10	10%	7.4	53
両磐	84	10%	65	42	76	10%	59	41	8	8%	6.2	51
気仙	37	4%	58	38	33	4%	52	38	4	4%	6.3	51
釜石	25	3%	51	35	23	3%	47	35	2	2%	4.1	48
宮古	45	5%	52	35	38	5%	44	34	7	7%	8.2	55
久慈	33	4%	56	37	29	4%	49	36	4	4%	6.7	52
二戸	36	4%	65	42	29	4%	52	38	7	7%	12.6	62
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

資_図表 3-7 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
岩手県	17,081	1.1%	1,335	52	1,343	1.4%	105	53	18,424	1.1%	1,440	53
盛岡	7,441	44%	1,561	57	556	41%	117	55	7,997	43%	1,677	57
岩手中部	2,248	13%	998	45	192	14%	85	51	2,440	13%	1,084	46
胆江	1,611	9%	1,191	49	148	11%	109	54	1,759	10%	1,300	50
両磐	1,533	9%	1,184	49	107	8%	83	51	1,640	9%	1,267	50
気仙	702	4%	1,105	48	76	6%	120	55	778	4%	1,225	49
釜石	979	6%	2,016	67	21	2%	43	47	1,000	5%	2,059	64
宮古	1,215	7%	1,416	54	85	6%	99	53	1,300	7%	1,515	54
久慈	666	4%	1,124	48	55	4%	93	52	721	4%	1,216	49
二戸	686	4%	1,231	50	103	8%	185	62	789	4%	1,416	52
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 3-8 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
岩手県	10,372	1.2%	811	55	2,314	0.7%	181	46	4,261	1.3%	333	54
盛岡	4,480	43%	940	61	1,340	58%	281	51	1,601	38%	336	54
岩手中部	1,512	15%	672	49	95	4%	42	40	615	14%	273	51
胆江	977	9%	722	51	332	14%	245	50	274	6%	202	47
両磐	1,100	11%	850	57	60	3%	46	40	359	8%	277	51
気仙	430	4%	677	49	60	3%	94	42	198	5%	312	52
釜石	673	6%	1,386	81	102	4%	210	48	204	5%	420	58
宮古	478	5%	557	44	148	6%	172	46	575	13%	670	70
久慈	367	4%	619	46	85	4%	143	45	210	5%	354	55
二戸	355	3%	637	47	92	4%	165	46	225	5%	404	57
出典	平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月				平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月			

3.岩手県(2019年版)

資_図表 3-9 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
岩手県	676	0.8%	53	48	457	0.6%	36	46
盛岡	476	70%	100	58	267	58%	56	49
岩手中部	44	7%	20	41	40	9%	18	44
胆江	0	0%	0	36	45	10%	33	46
両磐	35	5%	27	42	57	12%	44	47
気仙	0	0%	0	36	0	0%	0	41
釜石	0	0%	0	36	0	0%	0	41
宮古	78	12%	91	56	36	8%	42	47
久慈	43	6%	73	52	0	0%	0	41
二戸	0	0%	0	36	12	3%	22	44
出典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 3-10 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床		
	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	総病床数	一般 病床数	療養 病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)	
岩手県	7,314	6,245	106	9,200	3,746	2,171	62.5%	57	4.7%	50	
盛岡	1,831	1,715	18	5,401	2,555	1,334	40.2%	48	1.3%	48	
岩手中部	1,171	1,001	0	871	361	95	73.5%	61	0.0%	48	
胆江	680	652	0	923	319	330	67.1%	59	0.0%	48	
両磐	1,170	797	0	361	301	60	72.6%	61	0.0%	48	
気仙	549	430	0	153	0	60	100.0%	71	0.0%	48	
釜石	502	502	0	477	171	102	74.6%	61	0.0%	48	
宮古	476	462	0	723	0	148	100.0%	71	0.0%	48	
久慈	375	332	43	291	39	42	89.5%	67	50.6%	70	
二戸	560	354	45	0	0	0	100.0%	71	100.0%	92	
出典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機 関とし、それ以外は民間病院とした。										

資_図表 3-11 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔 件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	分娩件数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
岩手県	18,984	0.9%	1,484	47	9,768	1.1%	763	51
盛岡	11,784	62%	2,472	59	3,972	41%	833	54
岩手中部	3,096	16%	1,375	45	1,992	20%	885	56
胆江	1,356	7%	1,002	41	624	6%	461	40
両磐	1,092	6%	844	39	1,008	10%	779	52
気仙	504	3%	793	38	540	6%	850	55
釜石	492	3%	1,013	41	252	3%	519	42
宮古	120	1%	140	30	660	7%	769	52
久慈	312	2%	526	35	180	2%	304	34
二戸	228	1%	409	34	540	6%	969	59
出典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 3-12 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 医師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
岩手県	2,503	0.8%	196	45	1,691	0.8%	132	46	812	0.8%	63	42
盛岡	1,356	54%	284	54	993	59%	208	56	363	45%	76	48
岩手中部	323	13%	143	39	181	11%	80	39	142	17%	63	42
胆江	217	9%	160	41	124	7%	92	40	93	11%	69	45
両磐	206	8%	159	41	134	8%	104	42	72	9%	56	39
気仙	95	4%	150	40	60	4%	94	41	35	4%	55	39
釜石	57	2%	117	36	36	2%	74	38	21	3%	43	34
宮古	93	4%	108	35	57	3%	66	37	36	4%	42	33
久慈	76	3%	128	37	53	3%	89	40	23	3%	39	32
二戸	80	3%	144	39	53	3%	95	41	27	3%	48	36
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

3.岩手県(2019年版)

資_図表 3-13 専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	小児科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	産婦人科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
岩手県	151	0.5%	11.8	40	107	0.8%	8.4	45	103	0.9%	8.0	48
盛岡	89	59%	18.7	46	68	64%	14.3	57	57	55%	12.0	58
岩手中部	25	17%	11.1	40	13	12%	5.8	39	11	11%	4.9	40
胆江	10	7%	7.4	36	4	4%	3.0	33	11	11%	8.1	48
両磐	10	7%	7.7	37	5	5%	3.9	35	10	10%	7.7	47
気仙	4	3%	6.3	35	7	7%	11.0	50	4	4%	6.3	44
釜石	2	1%	4.1	34	2	2%	4.1	36	1	1%	2.1	33
宮古	3	2%	3.5	33	4	4%	4.7	37	2	2%	2.3	34
久慈	4	3%	6.7	36	1	1%	1.7	31	1	1%	1.7	32
二戸	4	3%	7.2	36	3	3%	5.4	38	6	6%	10.8	55
出典 平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月												

資_図表 3-14 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	眼科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	耳鼻咽喉 科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
岩手県	46	0.8%	3.6	46	77	0.8%	6.0	44	50	0.7%	3.9	42
盛岡	25	54%	5.2	53	48	62%	10.1	57	26	52%	5.5	48
岩手中部	10	22%	4.4	50	9	12%	4.0	38	7	14%	3.1	40
胆江	4	9%	3.0	43	6	8%	4.4	40	7	14%	5.2	47
両磐	4	9%	3.1	44	3	4%	2.3	33	4	8%	3.1	39
気仙	1	2%	1.6	37	2	3%	3.1	36	1	2%	1.6	34
釜石	0	0%	0	30	2	3%	4.1	39	1	2%	2.1	36
宮古	0	0%	0	30	2	3%	2.3	33	1	2%	1.2	32
久慈	1	2%	1.7	37	1	1%	1.7	31	1	2%	1.7	34
二戸	1	2%	1.8	38	4	5%	7.2	48	2	4%	3.6	41
出典 平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月												

資_図表 3-15 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	整形外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
岩手県	79	0.8%	6.2	46	180	0.8%	14.1	46	122	0.7%	9.5	42
盛岡	33	42%	6.9	48	96	53%	20.1	54	68	56%	14.3	52
岩手中部	10	13%	4.4	41	21	12%	9.3	39	20	16%	8.9	41
胆江	6	8%	4.4	41	22	12%	16.3	49	13	11%	9.6	42
両磐	9	11%	7.0	48	11	6%	8.5	38	8	7%	6.2	35
気仙	1	1%	1.6	34	7	4%	11.0	41	3	2%	4.7	32
釜石	4	5%	8.2	52	5	3%	10.3	40	2	2%	4.1	30
宮古	7	9%	8.2	51	4	2%	4.7	32	4	3%	4.7	31
久慈	6	8%	10.1	57	8	4%	13.5	45	2	2%	3.4	29
二戸	3	4%	5.4	44	6	3%	10.8	41	2	2%	3.6	29
出典 平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月												

資_図表 3-16 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	脳神経外 科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	放射線科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
岩手県	66	1.1%	5.2	51	74	1.1%	5.8	51	38	0.6%	3.0	45
盛岡	32	48%	6.7	58	39	53%	8.2	61	26	68%	5.5	52
岩手中部	6	9%	2.7	40	11	15%	4.9	48	3	8%	1.3	39
胆江	9	14%	6.7	58	6	8%	4.4	46	2	5%	1.5	40
両磐	6	9%	4.6	49	5	7%	3.9	43	3	8%	2.3	43
気仙	4	6%	6.3	56	3	4%	4.7	47	0	0%	0	35
釜石	0	0%	0	28	3	4%	6.2	53	0	0%	0	35
宮古	3	5%	3.5	44	1	1%	1.2	32	2	5%	2.3	43
久慈	2	3%	3.4	43	3	4%	5.1	48	0	0%	0	35
二戸	4	6%	7.2	61	3	4%	5.4	50	2	5%	3.6	47
出典 平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月												

3.岩手県(2019年版)

資_図表 3-17 専門医数(麻醉科、病理、救急科)

二次医療圏	麻醉科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病理 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	救急科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
岩手県	46	0.6%	3.6	43	12	0.7%	0.9	46	43	1.0%	3.4	50
盛岡	31	67%	6.5	52	11	92%	2.3	60	31	72%	6.5	65
岩手中部	4	9%	1.8	38	0	0%	0	37	2	5%	0.9	38
胆江	5	11%	3.7	44	0	0%	0	37	2	5%	1.5	41
両磐	4	9%	3.1	42	0	0%	0	37	4	9%	3.1	49
気仙	0	0%	0	32	1	8%	1.6	53	2	5%	3.1	49
釜石	0	0%	0	32	0	0%	0	37	0	0%	0	34
宮古	0	0%	0	32	0	0%	0	37	0	0%	0	34
久慈	0	0%	0	32	0	0%	0	37	2	5%	3.4	50
二戸	2	4%	3.6	43	0	0%	0	37	0	0%	0	34
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月											

資_図表 3-18 専門医数(形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ーション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
岩手県	18	0.8%	1.4	47	22	0.8%	1.7	47
盛岡	12	67%	2.5	56	15	68%	3.1	57
岩手中部	2	11%	0.9	43	3	14%	1.3	44
胆江	1	6%	0.7	42	2	9%	1.5	45
両磐	1	6%	0.8	42	0	0%	0	35
気仙	0	0%	0	36	0	0%	0	35
釜石	0	0%	0	36	0	0%	0	35
宮古	1	6%	1.2	45	1	5%	1.2	43
久慈	1	6%	1.7	50	0	0%	0	35
二戸	0	0%	0	36	1	5%	1.8	47
出典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

資_図表 3-19 看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
岩手県	12,295	1.1%	961	52	9,695	1.1%	758	51	2,600	1.2%	203	54
盛岡	5,671	46%	1,189	60	4,585	47%	962	60	1,086	42%	228	57
岩手中部	1,666	14%	740	44	1,219	13%	541	42	448	17%	199	53
胆江	1,210	10%	894	50	895	9%	662	47	315	12%	232	58
両磐	1,149	9%	887	50	923	10%	713	50	225	9%	174	49
気仙	480	4%	755	45	346	4%	544	43	134	5%	211	55
釜石	523	4%	1,076	56	458	5%	943	59	65	2%	133	44
宮古	662	5%	772	45	519	5%	605	45	143	5%	166	48
久慈	480	4%	810	47	396	4%	668	48	84	3%	141	45
二戸	454	4%	815	47	353	4%	634	46	101	4%	181	51
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月			

資_図表 3-20 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
岩手県	1,175	0.8%	92	47	2,421	0.8%	189	45
盛岡	701	60%	147	57	1,175	49%	246	50
岩手中部	140	12%	62	42	393	16%	175	43
胆江	79	7%	58	41	213	9%	157	42
両磐	81	7%	63	42	205	8%	158	42
気仙	17	1%	27	35	99	4%	156	41
釜石	35	3%	72	43	83	3%	171	43
宮古	76	6%	88	46	105	4%	122	38
久慈	28	2%	47	39	52	2%	88	35
二戸	18	2%	32	36	96	4%	172	43
出典	平成29年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月			

3.岩手県(2019年版)

資_図表 3-21 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
岩手県	70	0.5%	0.3	38	14	0.9%	0.1	47	112	1.0%	0.5	42
盛岡	34	49%	0.5	42	7	50%	0.1	53	51	46%	0.8	55
岩手中部	19	27%	0.5	42	1	7%	0.0	41	15	13%	0.4	37
胆江	3	4%	0.1	33	0	0%	0	37	13	12%	0.5	42
両磐	5	7%	0.2	35	4	29%	0.2	60	11	10%	0.4	38
気仙	2	3%	0.2	34	1	7%	0.1	49	4	4%	0.3	33
釜石	3	4%	0.3	37	1	7%	0.1	52	4	4%	0.4	38
宮古	3	4%	0.2	34	0	0%	0	37	10	9%	0.6	46
久慈	1	1%	0.1	32	0	0%	0	37	2	2%	0.2	27
二戸	0	0%	0	30	0	0%	0	37	2	2%	0.2	26
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 令和元年6月			

資_図表 3-22 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
岩手県	19,766	1.1%	95	44	14,497	1.4%	70	56	5,269	0.7%	25	38
盛岡	6,830	35%	108	52	4,603	32%	73	59	2,227	42%	35	45
岩手中部	3,398	17%	92	42	2,488	17%	67	54	910	17%	25	38
胆江	2,009	10%	83	37	1,510	10%	62	51	499	9%	21	35
両磐	2,452	12%	99	47	1,640	11%	67	54	812	15%	33	43
気仙	978	5%	79	34	868	6%	70	57	110	2%	9	28
釜石	785	4%	85	38	668	5%	72	59	117	2%	13	30
宮古	1,251	6%	78	34	978	7%	61	49	273	5%	17	33
久慈	1,052	5%	100	47	880	6%	84	68	172	3%	16	33
二戸	1,011	5%	90	41	862	6%	77	62	149	3%	13	31
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 3-23 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設 (老健) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 定員数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
岩手県	6,069	1.6%	29	61	8,148	1.4%	39	53	280	0.5%	1.3	45
盛岡	2,082	34%	33	67	2,272	28%	36	50	249	89%	4.0	52
岩手中部	1,101	18%	30	62	1,387	17%	37	52	0	0%	0	42
胆江	517	9%	21	48	993	12%	41	55	0	0%	0	42
両磐	672	11%	27	58	956	12%	39	53	12	4%	0.5	43
気仙	342	6%	28	58	526	6%	42	57	0	0%	0	42
釜石	288	5%	31	64	380	5%	41	55	0	0%	0	42
宮古	361	6%	22	50	617	8%	38	53	0	0%	0	42
久慈	406	7%	39	77	455	6%	43	58	19	7%	1.8	46
二戸	300	5%	27	57	562	7%	50	64	0	0%	0	42
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 3-24 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
岩手県	304	0.1%	1.5	38	565	2.4%	2.7	56	2,402	1.2%	11.5	48
盛岡	177	58%	2.8	39	269	48%	4.3	63	678	28%	10.8	47
岩手中部	9	3%	0.2	37	130	23%	3.5	60	513	21%	13.8	52
胆江	0	0%	0	36	0	0%	0	43	242	10%	10.0	46
両磐	90	30%	3.7	40	96	17%	3.9	62	351	15%	14.2	53
気仙	0	0%	0	36	0	0%	0	43	90	4%	7.3	41
釜石	0	0%	0	36	0	0%	0	43	117	5%	12.7	50
宮古	21	7%	1.3	38	0	0%	0	43	232	10%	14.4	53
久慈	0	0%	0	36	0	0%	0	43	107	4%	10.2	46
二戸	7	2%	0.6	37	70	12%	6.2	73	72	3%	6.4	39
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

3.岩手県(2019年版)

資_図表 3-25 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
岩手県	1,998	0.8%	9.6	43	100	0.4%	0.5	44	1,898	0.9%	9.1	44
盛岡	1,103	55%	17.5	53	60	60%	1.0	47	1,043	55%	16.5	54
岩手中部	258	13%	7.0	39	22	22%	0.6	45	236	12%	6.4	40
胆江	257	13%	10.6	44	18	18%	0.7	46	239	13%	9.9	45
両磐	275	14%	11.2	45	0	0%	0	42	275	14%	11.2	47
気仙	20	1%	1.6	32	0	0%	0	42	20	1%	1.6	33
釜石	0	0%	0	30	0	0%	0	42	0	0%	0	31
宮古	20	1%	1.2	31	0	0%	0	42	20	1%	1.2	33
久慈	65	3%	6.2	38	0	0%	0	42	65	3%	6.2	40
二戸	0	0%	0	30	0	0%	0	42	0	0%	0	31
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの				令和元年6月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 3-26 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サー ビス従事 看護師数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
岩手県	1,946	1.1%	9.3	44	1,452	1.2%	7.0	48	495	0.9%	2.4	41
盛岡	787	40%	12.5	58	553	38%	8.8	58	234	47%	3.7	53
岩手中部	293	15%	7.9	37	219	15%	5.9	43	74	15%	2.0	38
胆江	175	9%	7.2	34	135	9%	5.6	41	40	8%	1.6	35
両磐	230	12%	9.3	44	161	11%	6.5	46	69	14%	2.8	45
気仙	89	5%	7.2	34	77	5%	6.2	44	11	2%	0.9	29
釜石	66	3%	7.1	34	54	4%	5.8	42	12	2%	1.3	32
宮古	123	6%	7.6	36	84	6%	5.2	39	39	8%	2.4	41
久慈	103	5%	9.8	46	95	7%	9.0	59	8	2%	0.8	27
二戸	81	4%	7.2	34	73	5%	6.5	46	9	2%	0.8	27
出典	令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 3-27 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員 数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (介護施設 等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員 数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
岩手県	20,003	1.3%	96	53	17,517	1.4%	84	55	2,486	1.1%	11.9	47
盛岡	6,784	34%	108	63	5,612	32%	89	59	1,172	47%	18.6	60
岩手中部	3,604	18%	97	54	3,265	19%	88	58	338	14%	9.1	42
胆江	2,045	10%	85	43	1,802	10%	75	45	243	10%	10.1	44
両磐	2,252	11%	91	49	1,993	11%	81	51	260	10%	10.5	45
気仙	1,007	5%	81	40	897	5%	72	44	110	4%	8.9	41
釜石	802	4%	87	45	728	4%	79	50	73	3%	7.9	40
宮古	1,518	8%	94	51	1,374	8%	85	56	144	6%	8.9	42
久慈	967	5%	92	50	916	5%	87	58	51	2%	4.9	34
二戸	1,024	5%	91	49	929	5%	83	53	95	4%	8.4	41
出典 令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの												

資_図表 3-28 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
岩手県	6,281	0.5%	30	37	4,650	0.8%	22	42	10,426	0.9%	50	42
盛岡	3,312	53%	53	44	2,278	49%	36	52	4,252	41%	67	50
岩手中部	1,246	20%	34	38	853	18%	23	42	1,329	13%	36	36
胆江	327	5%	14	32	416	9%	17	38	897	9%	37	37
両磐	428	7%	17	34	431	9%	17	38	1,350	13%	55	44
気仙	112	2%	9	31	132	3%	11	33	545	5%	44	40
釜石	638	10%	69	48	204	4%	22	42	395	4%	43	39
宮古	78	1%	5	30	227	5%	14	36	861	8%	53	44
久慈	68	1%	6	30	33	1%	3	28	269	3%	26	32
二戸	72	1%	6	30	76	2%	7	31	528	5%	47	41
出典 令和元年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの												

3.岩手県(2019年版)

資_図表 3-29 総人口の推移と医療需要の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	122,544,102	-4%	13%	5%	18%
岩手県		1,385,041	1,279,594	-8%	1,161,638	-16%	4%	-1%	3%
盛岡	地方都市型	489,492	476,758	-3%	452,639	-8%	11%	5%	16%
岩手中部	地方都市型	238,126	225,155	-5%	207,250	-13%	5%	-1%	5%
胆江	過疎地域型	146,567	135,317	-8%	121,261	-17%	3%	-3%	0%
両磐	過疎地域型	144,541	129,451	-10%	114,307	-21%	0%	-3%	-4%
気仙	過疎地域型	74,888	63,536	-15%	54,139	-28%	-4%	-5%	-9%
釜石	過疎地域型	59,503	48,561	-18%	41,242	-31%	-10%	-8%	-17%
宮古	過疎地域型	99,885	85,809	-14%	73,042	-27%	-3%	-7%	-9%
久慈	過疎地域型	67,042	59,279	-12%	51,654	-23%	2%	-3%	-1%
二戸	過疎地域型	64,997	55,728	-14%	46,104	-29%	-3%	-9%	-12%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口・年齢(3区分)・割合・就業者数・昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 ※医療需要は(0～64歳人口)+(65～74歳人口)×3.0+(75歳以上人口)×4.9で算出。								

資_図表 3-30 病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	-705	-8%
岩手県	108	7.8	52	93	7.3	52	-15	-14%
盛岡	45	9.2	55	39	8.2	54	-6	-13%
岩手中部	15	6.3	48	13	5.8	48	-2	-13%
胆江	11	7.5	51	9	6.7	50	-2	-18%
両磐	12	8.3	53	10	7.7	53	-2	-17%
気仙	4	5.3	45	3	4.7	45	-1	-25%
釜石	6	10.1	58	6	12.4	65	0	0%
宮古	7	7.0	50	6	7.0	51	-1	-14%
久慈	4	6.0	47	4	6.7	50	0	0%
二戸	4	6.2	48	3	5.4	47	-1	-25%
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 3-31 診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
岩手県	914	66	45	882	69	44	-32	-4%
盛岡	385	79	51	365	77	48	-20	-5%
岩手中部	165	69	47	154	68	44	-11	-7%
胆江	94	64	44	103	76	48	9	10%
両磐	85	59	41	84	65	42	-1	-1%
気仙	44	59	41	37	58	38	-7	-16%
釜石	28	47	36	25	51	35	-3	-11%
宮古	54	54	39	45	52	35	-9	-17%
久慈	29	43	34	33	56	37	4	14%
二戸	30	46	35	36	65	42	6	20%
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 3-32 医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
岩手県	2,499	180	46	2,503	196	45	4	0%
盛岡	1,296	265	56	1,356	284	54	60	5%
岩手中部	322	135	41	323	143	39	1	0%
胆江	222	151	43	217	160	41	-5	-2%
両磐	205	142	42	206	159	41	1	0%
気仙	93	124	40	95	150	40	2	2%
釜石	84	141	42	57	117	36	-27	-32%
宮古	123	123	39	93	108	35	-30	-24%
久慈	77	115	38	76	128	37	-1	-1%
二戸	77	118	39	80	144	39	3	4%
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2018年>平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成30年12月							

3.岩手県(2019年版)

資_図表 3-33 総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
岩手県	23,126	167	54	18,424	144	53	-4,702	-20%
盛岡	9,755	199	60	7,997	168	57	-1,758	-18%
岩手中部	3,412	143	50	2,440	108	46	-972	-28%
胆江	2,423	165	54	1,759	130	50	-664	-27%
両磐	2,217	153	52	1,640	127	50	-577	-26%
気仙	824	110	44	778	122	49	-46	-6%
釜石	1,216	204	61	1,000	206	64	-216	-18%
宮古	1,660	166	54	1,300	151	54	-360	-22%
久慈	858	128	48	721	122	49	-137	-16%
二戸	761	117	46	789	142	52	28	4%
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 3-34 一般病床数(病院+診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
岩手県	14,758	107	58	11,601	91	55	-3,157	-21%
盛岡	5,736	117	62	4,997	105	61	-739	-13%
岩手中部	2,331	98	55	1,679	75	49	-652	-28%
胆江	1,432	98	55	1,101	81	52	-331	-23%
両磐	1,576	109	59	1,203	93	56	-373	-24%
気仙	731	98	55	506	80	51	-225	-31%
釜石	956	161	77	694	143	76	-262	-27%
宮古	869	87	51	557	65	45	-312	-36%
久慈	492	73	46	422	71	48	-70	-14%
二戸	635	98	55	442	79	51	-193	-30%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

資_図表 3-35 療養病床数(病院+診療所)の推移

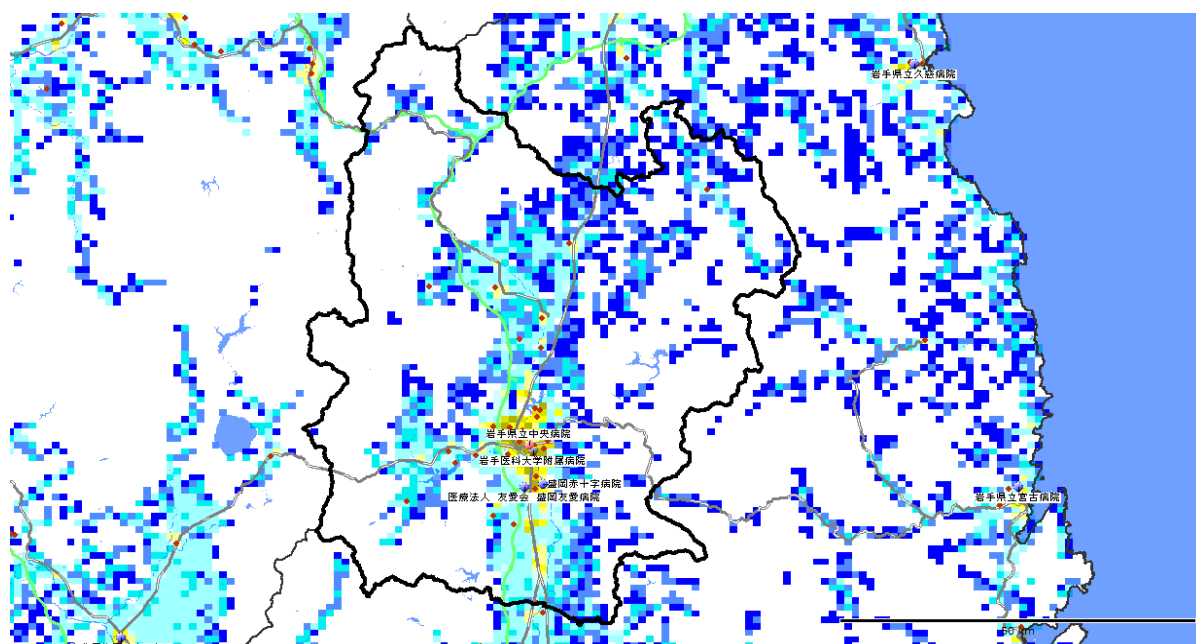
二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
岩手県	3,622	23	44	2,428	12	42	-1,194	-33%
盛岡	2,079	47	58	1,379	22	52	-700	-34%
岩手中部	289	10	37	120	3	35	-169	-58%
胆江	577	31	49	356	15	45	-221	-38%
両磐	233	11	38	64	3	34	-169	-73%
気仙	0	0	32	60	5	36	60	100%
釜石	54	6	35	102	11	42	48	89%
宮古	127	10	37	154	10	40	27	21%
久慈	147	19	43	85	8	39	-62	-42%
二戸	116	13	39	108	10	41	-8	-7%
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2018年>平成30年医療施設(静態・動態)調査 厚生労働省 平成30年10月							

3-1. もりおか 盛岡医療圏

構成市区町村 [盛岡市](#) [八幡平市](#) [滝沢市](#) [雫石町](#)
[葛巻町](#) [岩手町](#) [紫波町](#) [矢巾町](#)

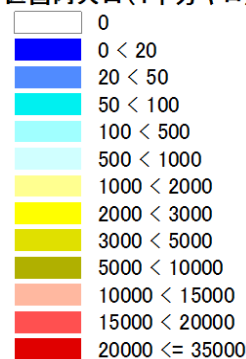
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(盛岡医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 盛岡(盛岡市)は、総人口約477千人(2015年)、面積3,642km²、人口密度は131人/km²の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 盛岡の総人口は2025年に453千人へと減少し(2015年比－5%)、2040年に396千人へと減少する(2025年比－13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の63千人が、2025年にかけて80千人へと増加し(2015年比＋27%)、2040年には90千人へと増加する(2025年比＋13%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 盛岡の一人当たり医療費(国保)は381千円(偏差値56)、介護給付費は281千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 盛岡の一人当たり急性期医療密度指数は1.83、一人当たり慢性期医療密度指数は1.19で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が54(病院医師数56、診療所医師数48)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は60と多い。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は61で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は59と多い。盛岡には、年間全身麻酔件数が2000例以上の盛岡赤十字病院(Ⅲ群)、岩手県立中央病院(Ⅱ群)、岩手医科大学附属病院(Ⅰ群・救命)がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は51と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値57と多く、回復期病床数は偏差値58と多い。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 盛岡の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6,830人(75歳以上1,000人当たりの偏差値52)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が4,603床(偏差値59)、高齢者住宅等が2,227床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5,612人(75歳以上1,000人当たりの偏差値59)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設67、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム39、軽費ホーム63、グループホーム47、サ高住53である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値53とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1,172人(75歳以上1,000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(盛岡医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

盛岡医療圏の総人口は、2005年489,492人が、2015年に476,758人と3%減少し、2025年の人口が452,639人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に11%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

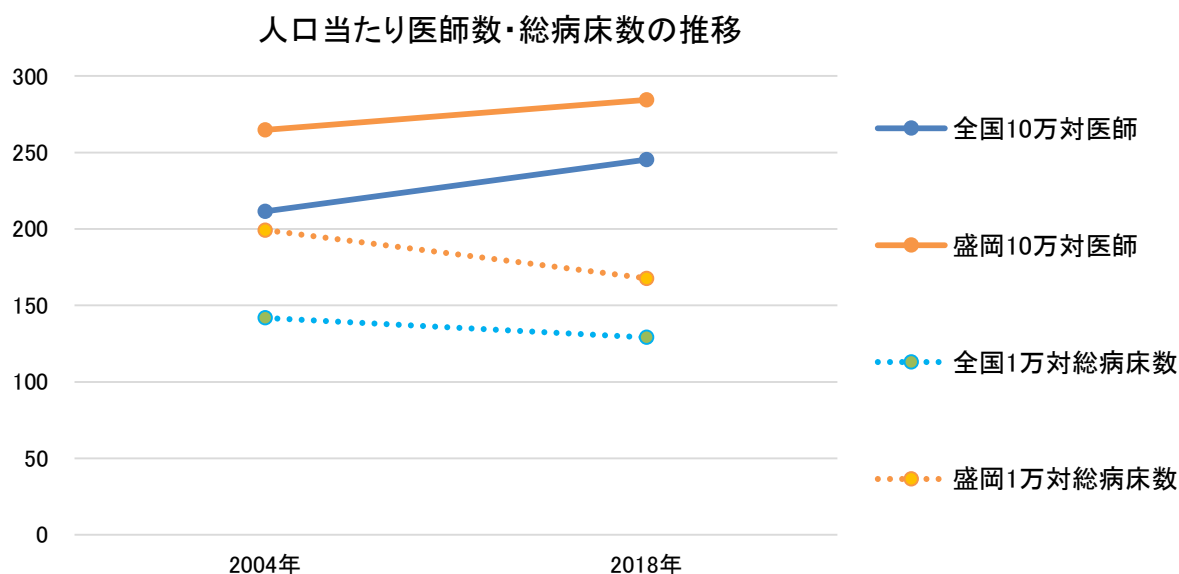
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が45(人口10万人当たり9.2病院(全国平均7.1)偏差値55)であったが、2018年に39(人口10万人当たり8.2病院(全国平均6.6)偏差値54)となり、14年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が385(人口10万人当たり79診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2018年に365(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、20診療所が減少した。

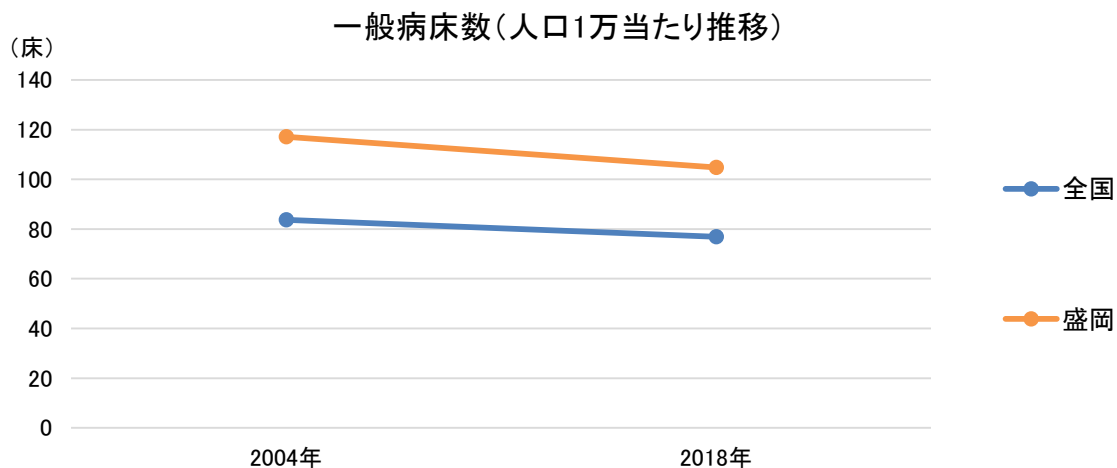
2004年の総病床数が9,755床(人口1万人当たり199(全国平均142)偏差値60)であったが、2018年に7,997床(人口1万人当たり168(全国平均129)偏差値57)と、1,758床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,296人(人口10万人当たり265人(全国平均212人)偏差値56)であったが、2018年に1,356人(人口10万人当たり284人(全国平均245人)偏差値54)と、60人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



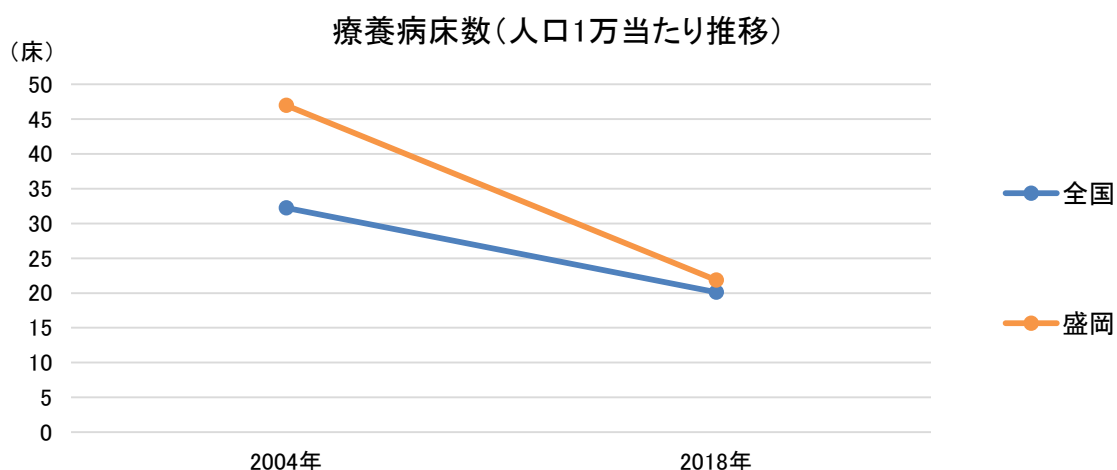
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5,736床(人口1万人当たり117(全国平均84)偏差値62)であったが、2018年に4,997床(人口1万人当たり105(全国平均77)偏差値61)と、739床の減少、率にして13%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



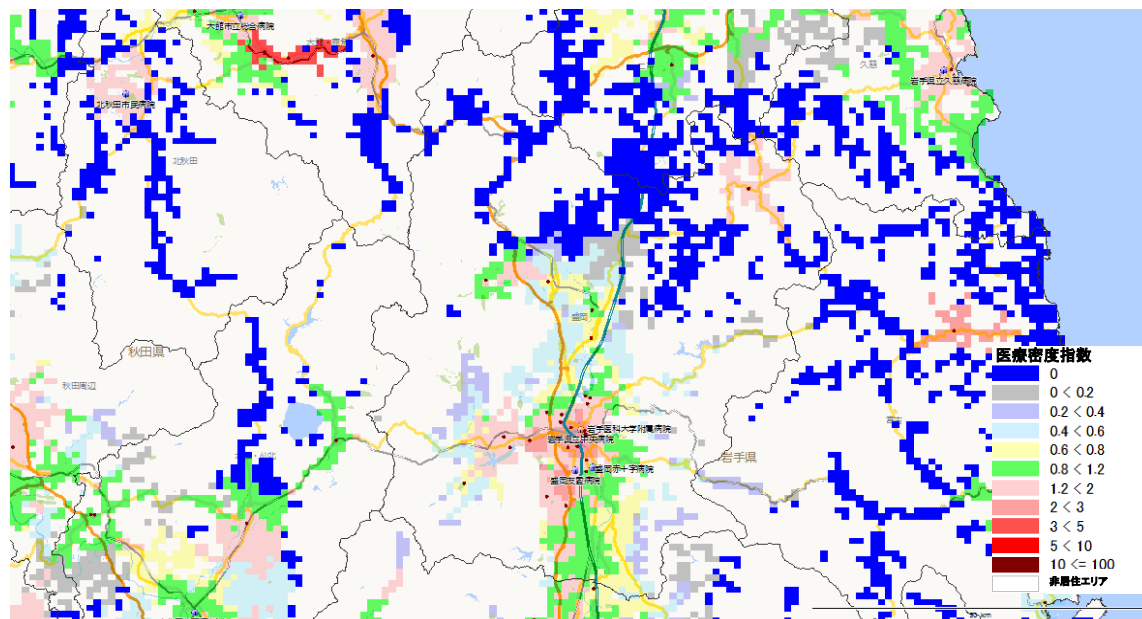
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2,079床(75歳以上1,000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2018年に1,379床(75歳以上1,000人当たり22(全国平均20)偏差値52)と、700床の減少、率にして34%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



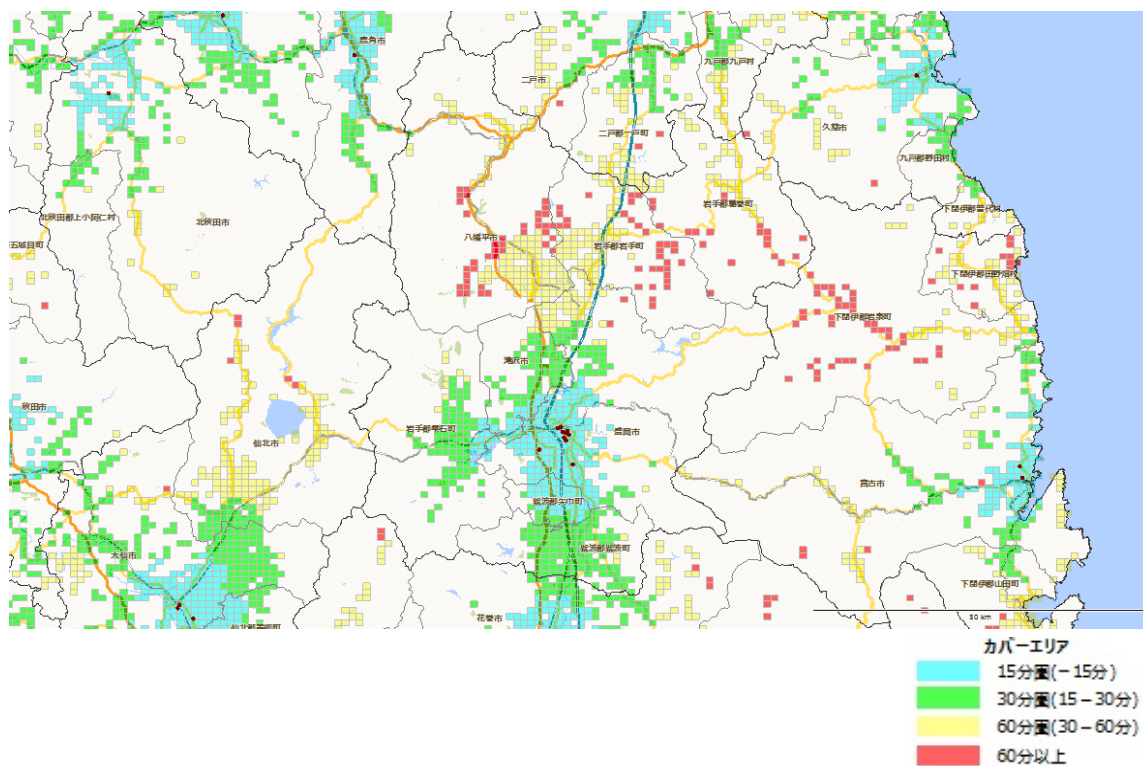
(盛岡医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

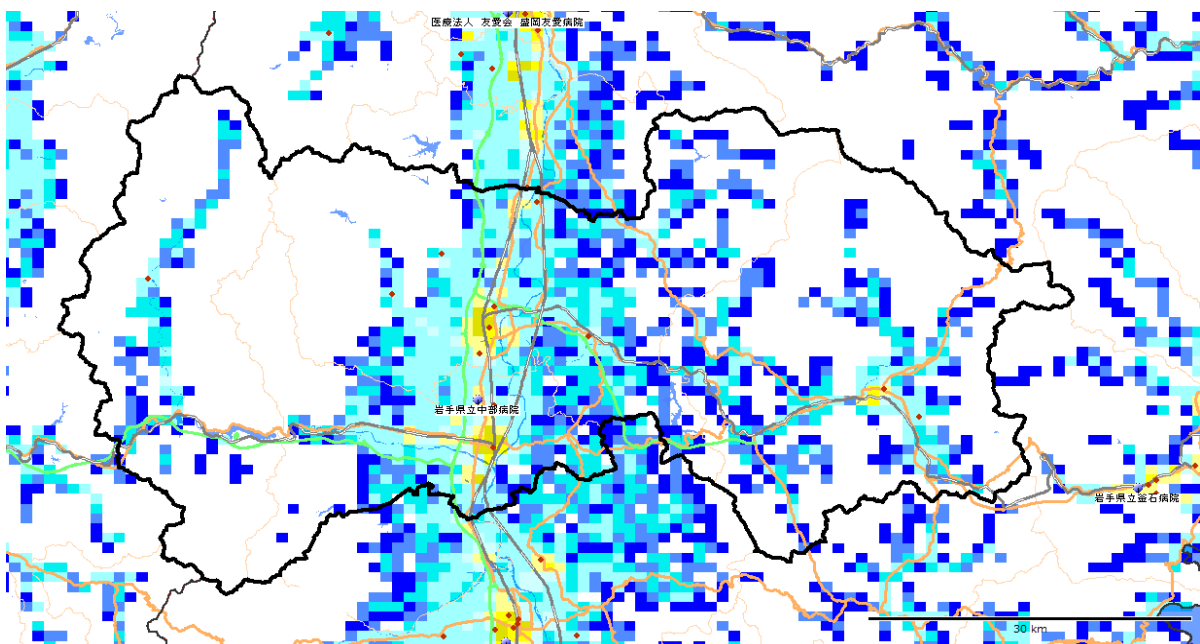


3-2. いわてちゅうぶ 岩手中部医療圏

構成市区町村

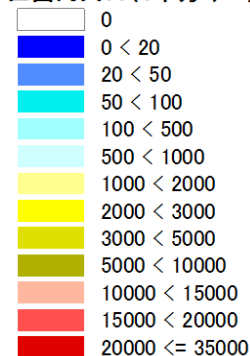
[花巻市](#)[北上市](#)[遠野市](#)[西和賀町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000～10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

● I 群

● II 群

● III 群

● 一般病院

(岩手中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 岩手中部(花巻市)は、総人口約225千人(2015年)、面積2,763km²、人口密度は81人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 岩手中部の総人口は2025年に207千人へと減少し(2015年比-8%)、2040年に175千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の37千人が、2025年にかけて41千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には42千人へと増加する(2025年比+2%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 岩手中部の一人当たり医療費(国保)は360千円(偏差値51)、介護給付費は276千円(偏差値56)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 岩手中部の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は0.49で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が39(病院医師数39、診療所医師数42)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。岩手中部には、年間全身麻酔件数が2000例以上の岩手県立中部病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値41と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は44で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 岩手中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,398人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,488床(偏差値54)、高齢者住宅等が910床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3,265人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム37、軽費ホーム60、グループホーム52、サ高住39である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値41と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値37と少ない。介護職員(在宅)の合計は、338人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-3%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(岩手中部医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

岩手中部医療圏の総人口は、2005年238,126人が、2015年に225,155人と5%減少し、2025年の人口が207,250人と予測され、2005年→2025年の間に13%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

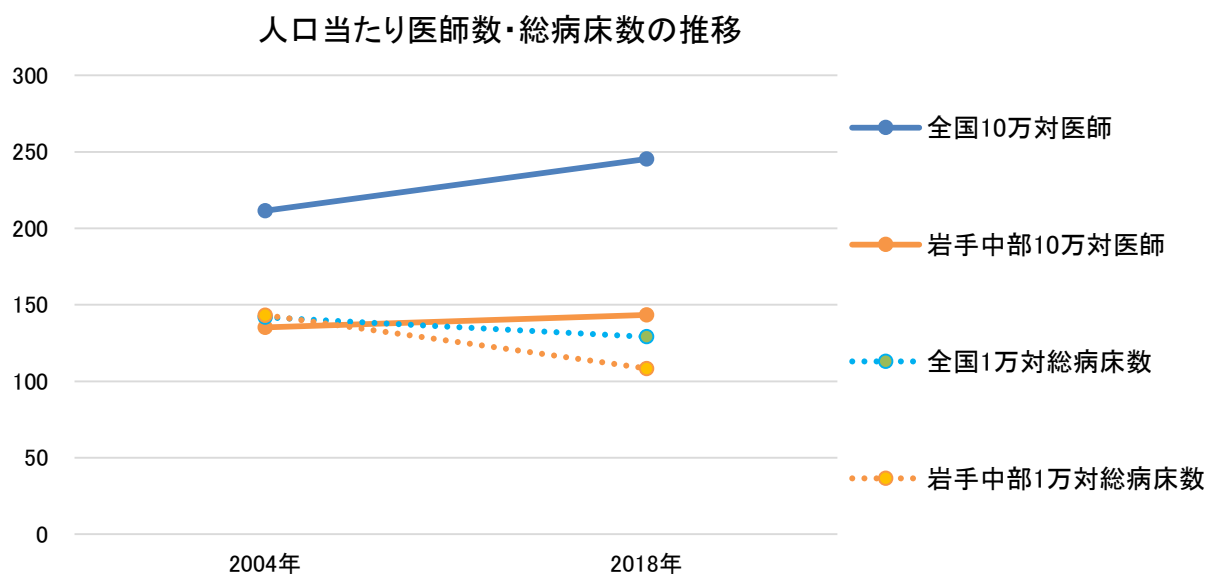
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2018年に13(人口10万人当たり5.8病院(全国平均6.6)偏差値48)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が165(人口10万人当たり69診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2018年に154(人口10万人当たり68診療所(全国平均80)偏差値44)と、11診療所が減少した。

2004年の総病床数が3,412床(人口1万人当たり143(全国平均142)偏差値50)であったが、2018年に2,440床(人口1万人当たり108(全国平均129)偏差値46)と、972床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

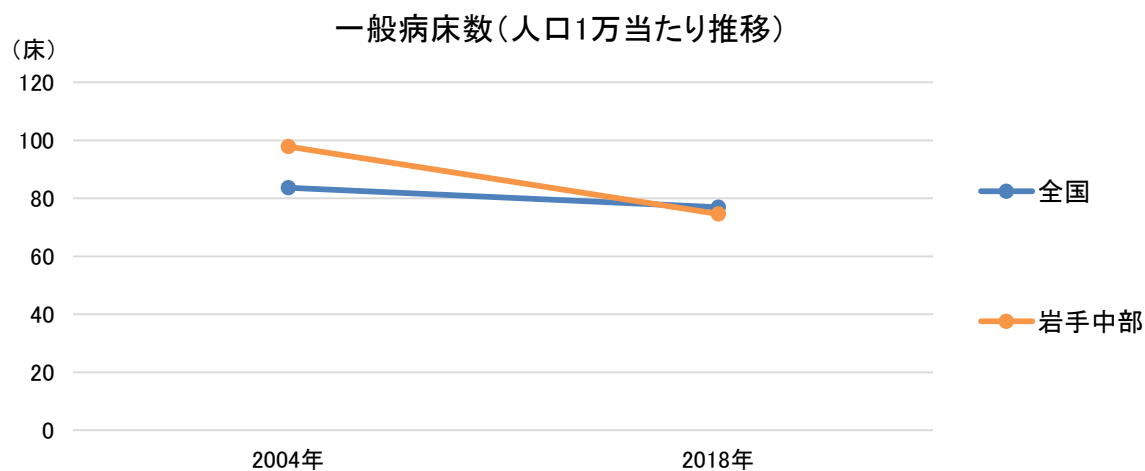
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が322人(人口10万人当たり135人(全国平均212人)偏差値41)であったが、2018年に323人(人口10万人当たり143人(全国平均245人)偏差値39)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



3.岩手県(2019年版)

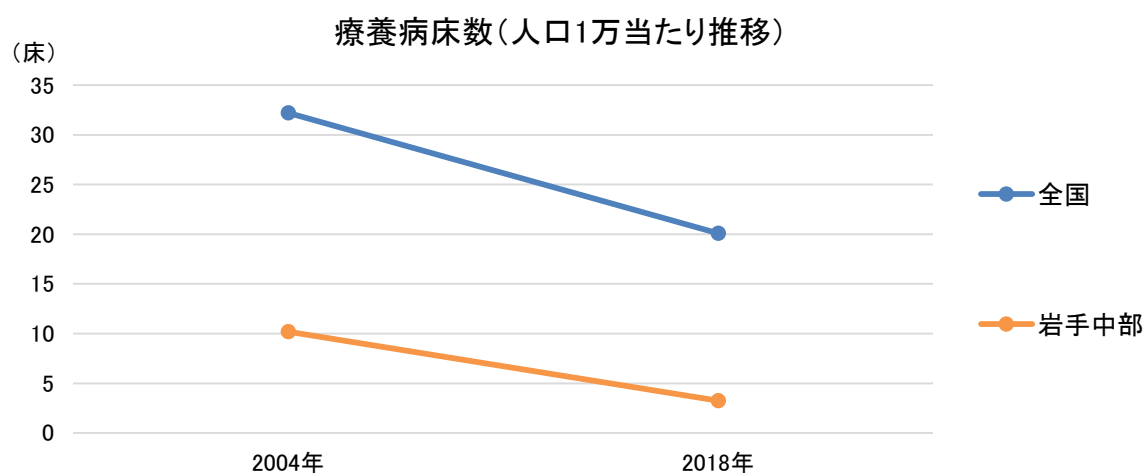
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2,331床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2018年に1,679床(人口1万人当たり75(全国平均77)偏差値49)と、652床の減少、率にして28%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



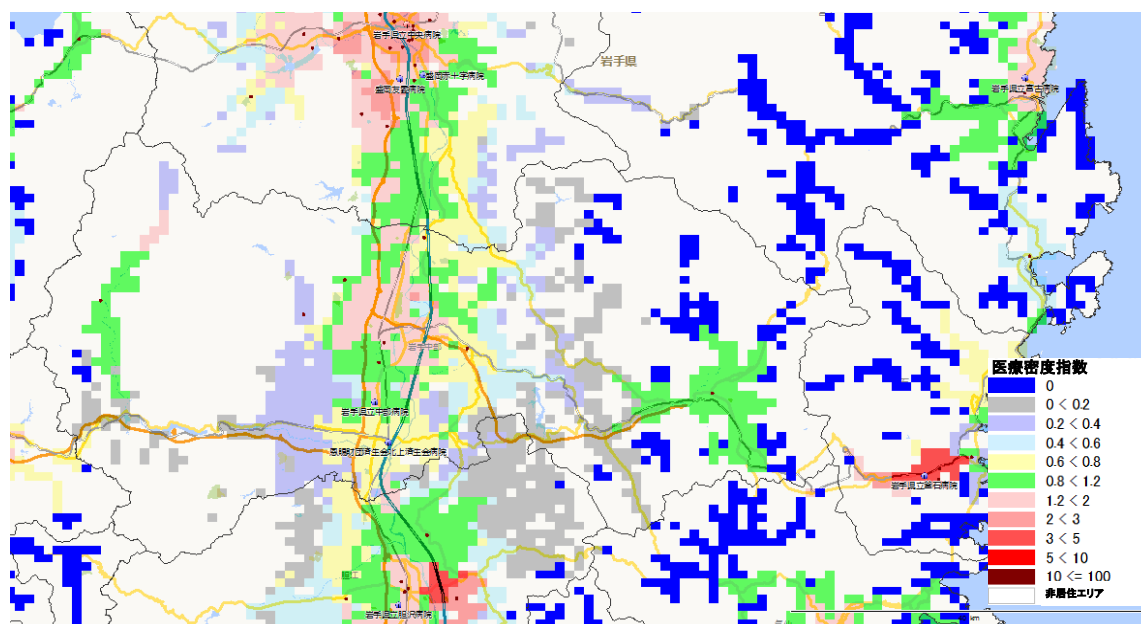
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が289床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2018年に120床(75歳以上1,000人当たり3(全国平均20)偏差値35)と、169床の減少、率にして58%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



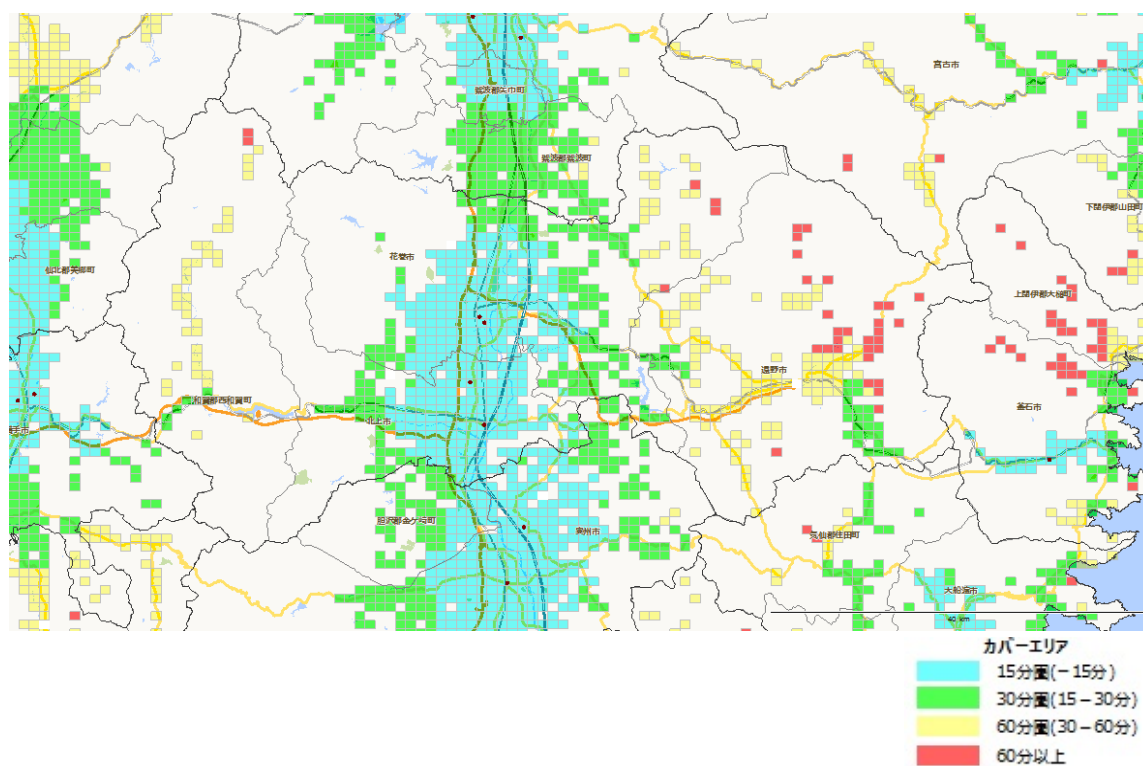
(岩手中部医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）

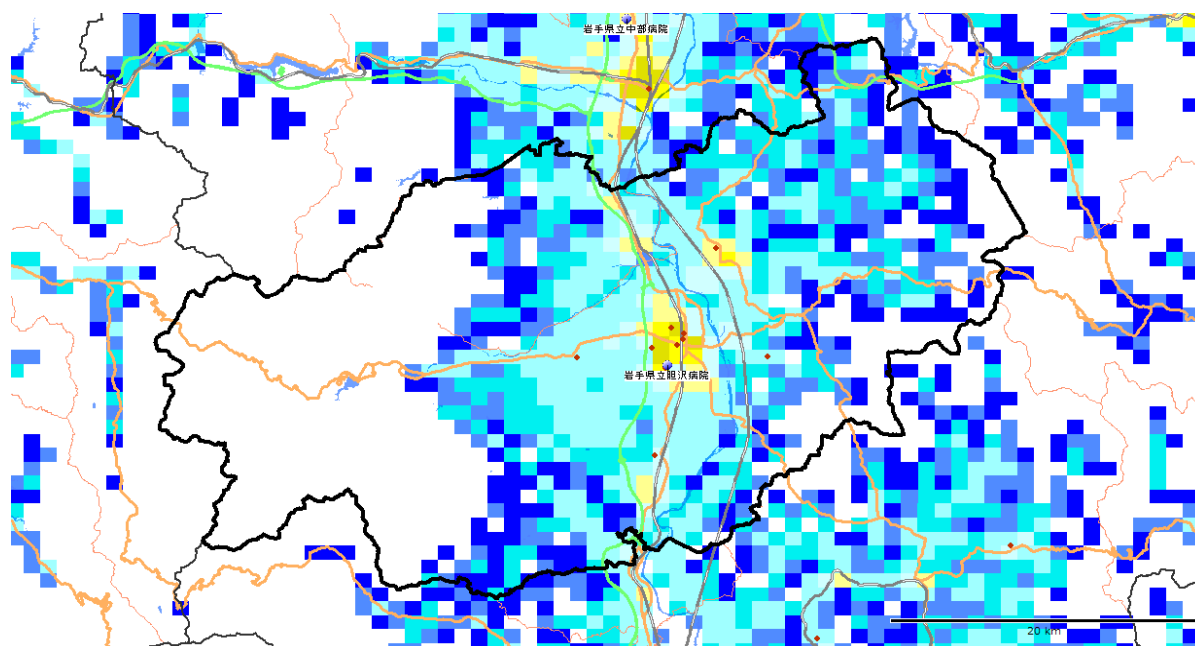


3-3. たんこう 胆江医療圏

構成市区町村 [奥州市](#) [金ケ崎町](#)

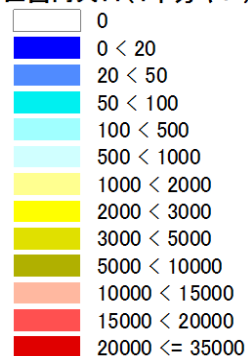
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(胆江医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 胆江(奥州市)は、総人口約135千人(2015年)、面積1,173km²、人口密度は115人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 胆江の総人口は2025年に121千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に98千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の24千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には26千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 胆江の一人当たり医療費(国保)は352千円(偏差値49)、介護給付費は251千円(偏差値49)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 胆江の一人当たり急性期医療密度指数は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数は1.07で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が41(病院医師数40、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は51で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。胆江には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岩手県立胆沢病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 胆江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,009人(75歳以上1,000人当たりの偏差値37)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,510床(偏差値51)、高齢者住宅等が499床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,802人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住44である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値42と少ない。介護職員(在宅)の合計は、243人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-16%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(胆江医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

胆江医療圏の総人口は、2005年146,567人が、2015年に135,317人と8%減少し、2025年の人口が121,261人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

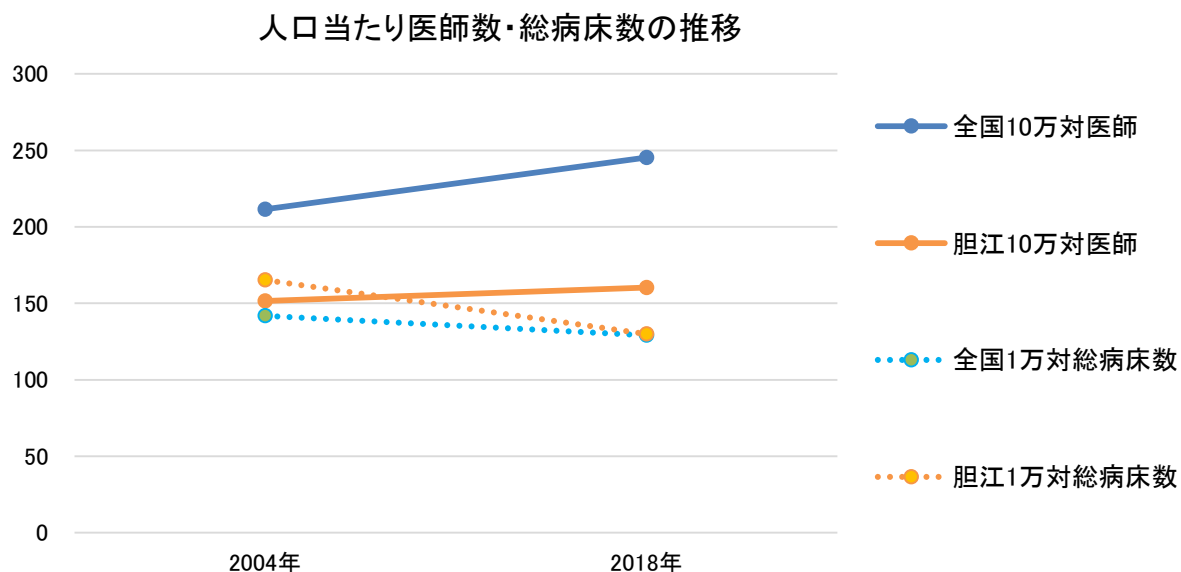
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が11(人口10万人当たり7.5病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2018年に9(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が94(人口10万人当たり64診療所(全国平均76)偏差値44)であったが、2018年に103(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、9診療所が増加した。

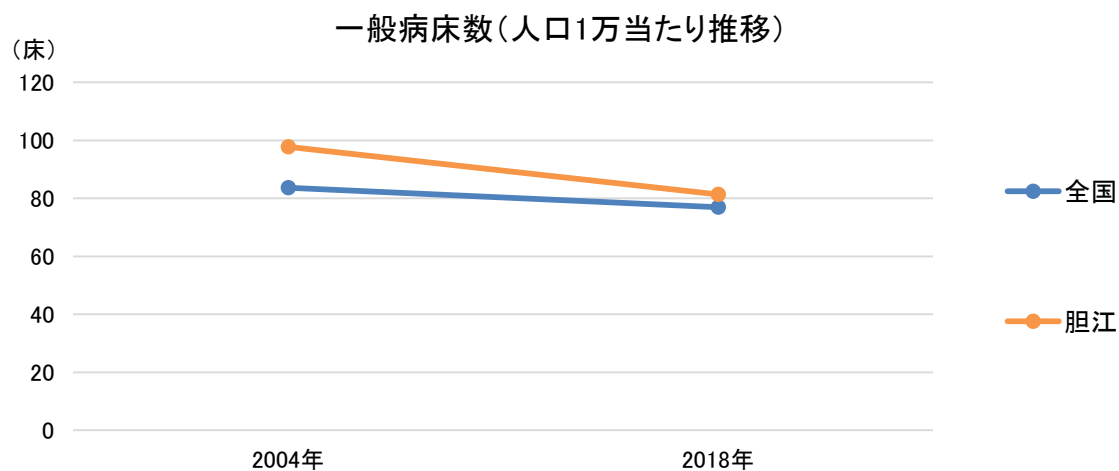
2004年の総病床数が2,423床(人口1万人当たり165(全国平均142)偏差値54)であったが、2018年に1,759床(人口1万人当たり130(全国平均129)偏差値50)と、664床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が222人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2018年に217人(人口10万人当たり160人(全国平均245人)偏差値41)と、5人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



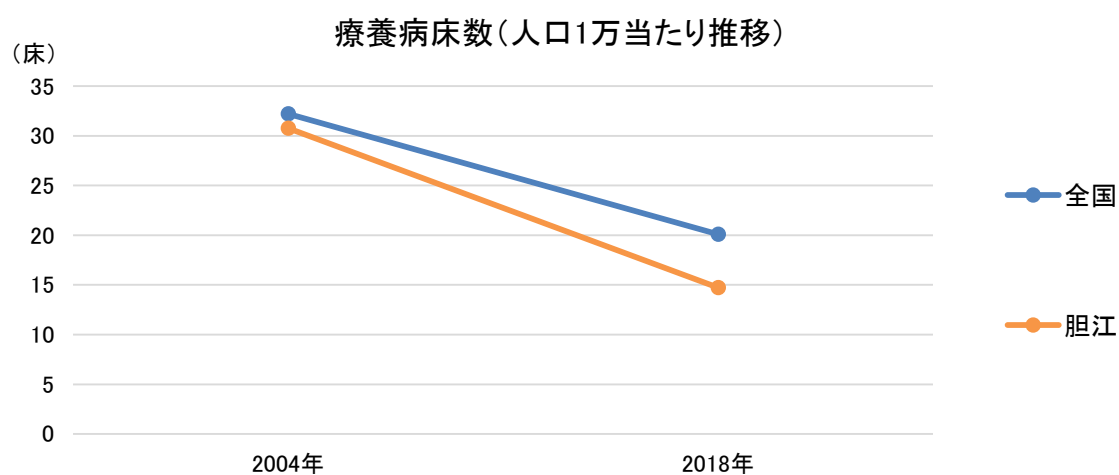
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,432床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2018年に1,101床(人口1万人当たり81(全国平均77)偏差値52)と、331床の減少、率にして23%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



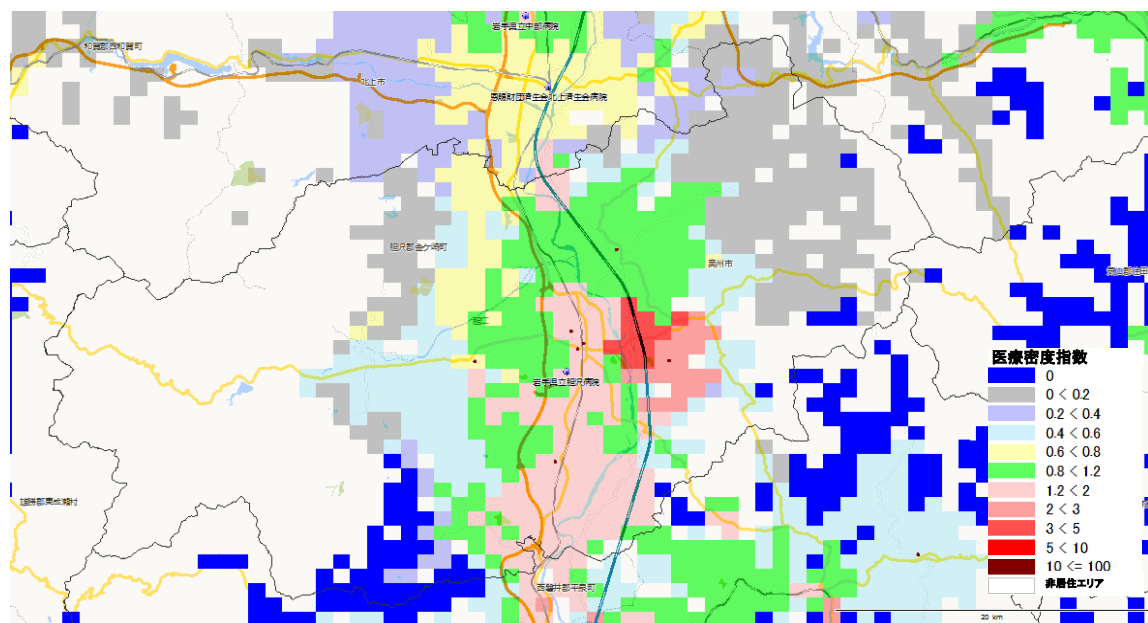
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が577床(75歳以上1,000人当たり31(全国平均32)偏差値49)であったが、2018年に356床(75歳以上1,000人当たり15(全国平均20)偏差値45)と、221床の減少、率にして38%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



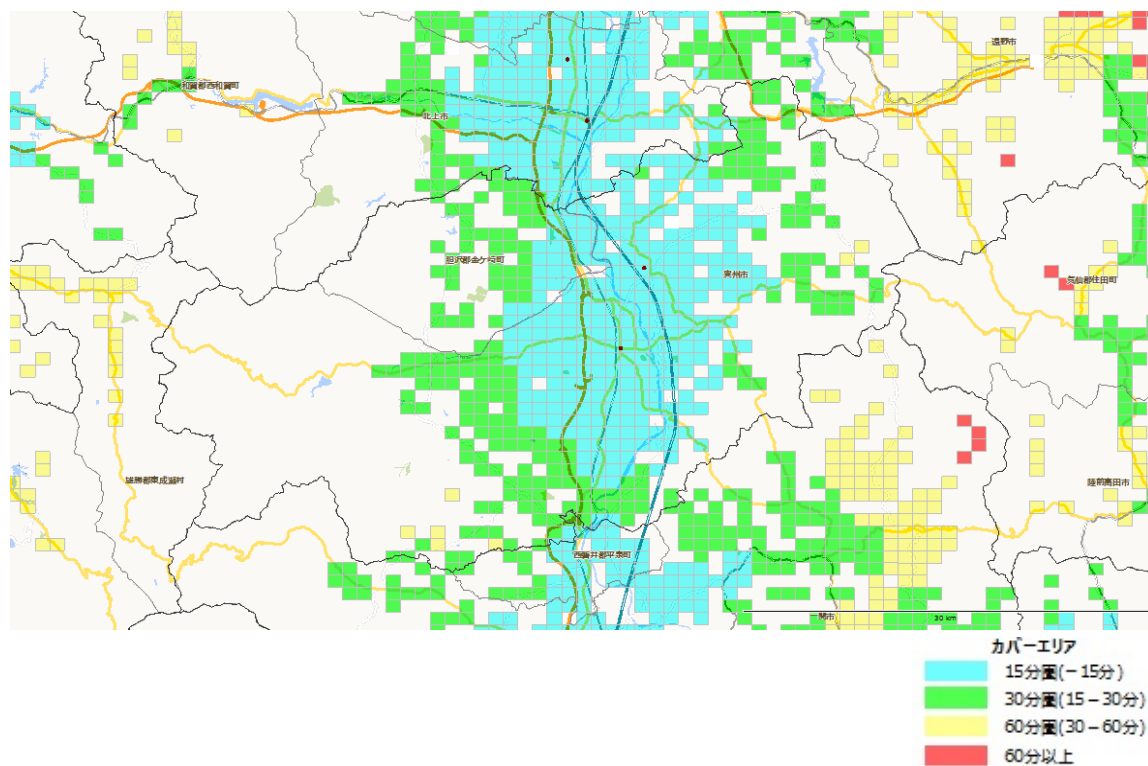
(胆江医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

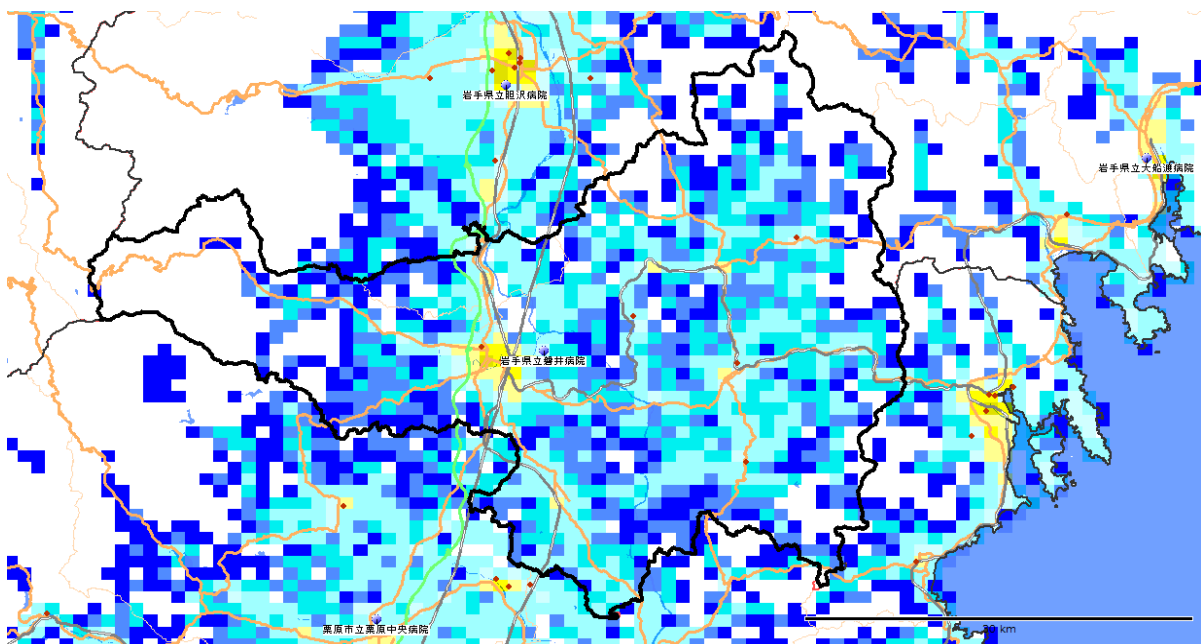
※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



3-4. りょうばん 西磐医療圏

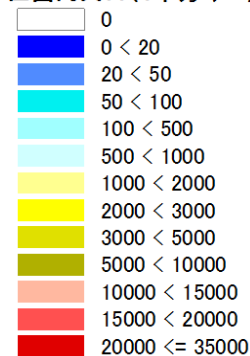
構成市区町村 一関市平泉町

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(両磐医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 両磐(一関市)は、総人口約129千人(2015年)、面積1,320km²、人口密度は98人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 両磐の総人口は2025年に114千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に91千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比+4%)、2040年には27千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 両磐の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値48)、介護給付費は290千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 両磐の一人当たり急性期医療密度指数は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は0.54で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が41(病院医師数42、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。両磐には、年間全身麻酔件数が1000例以上の岩手県立磐井病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値42と少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 両磐の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,452人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,640床(偏差値54)、高齢者住宅等が812床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,993人(75歳以上1,000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム40、軽費ホーム62、グループホーム53、サ高住45である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、260人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は+6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(両磐医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

両磐医療圏の総人口は、2005年144,541人が、2015年に129,451人と10%減少し、2025年の人口が114,307人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

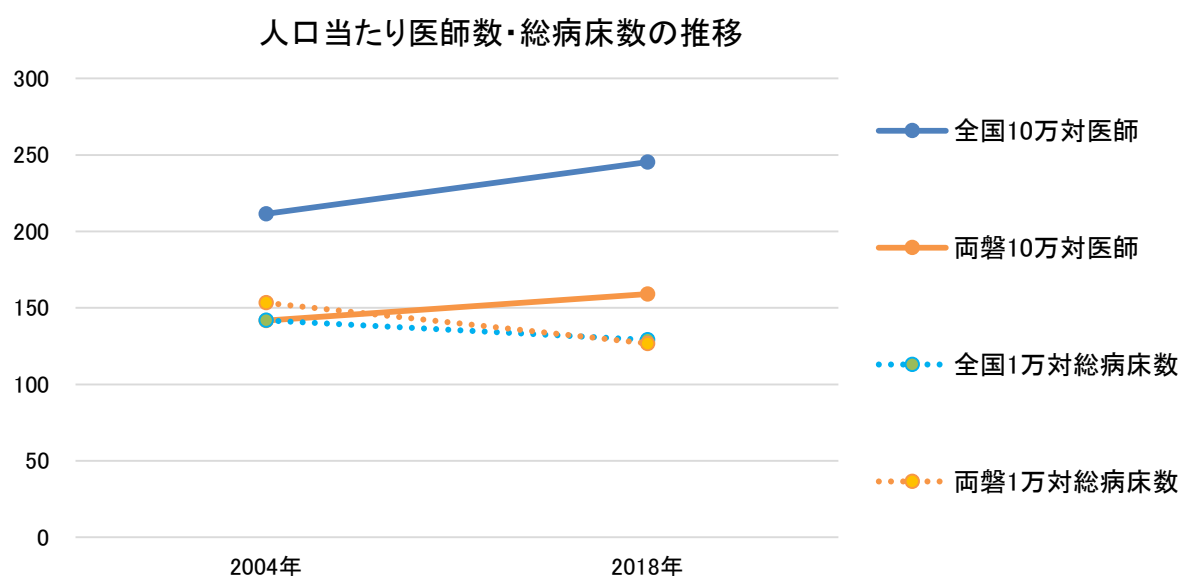
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12(人口10万人当たり8.3病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2018年に10(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.6)偏差値53)となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2018年に84(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、1診療所が減少した。

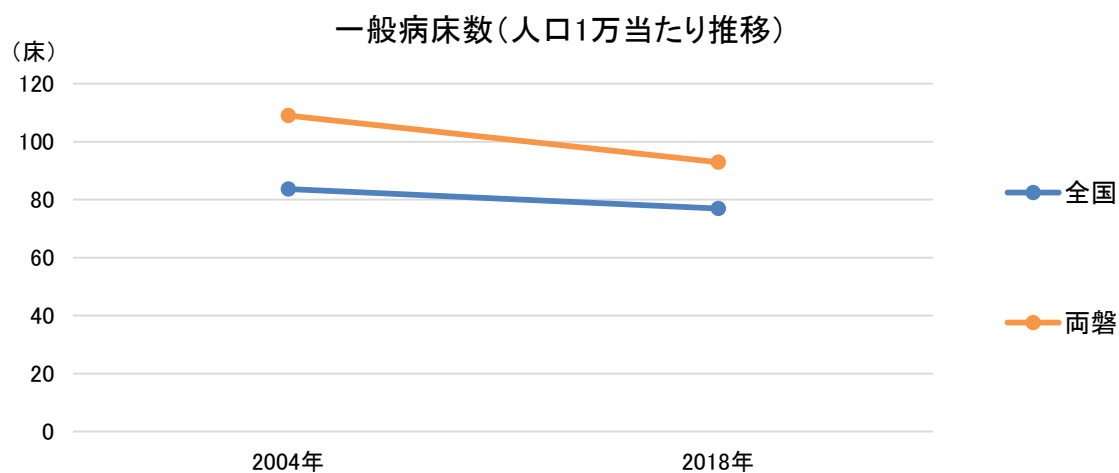
2004年の総病床数が2,217床(人口1万人当たり153(全国平均142)偏差値52)であったが、2018年に1,640床(人口1万人当たり127(全国平均129)偏差値50)と、577床の減少、率にして26%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が205人(人口10万人当たり142人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に206人(人口10万人当たり159人(全国平均245人)偏差値41)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



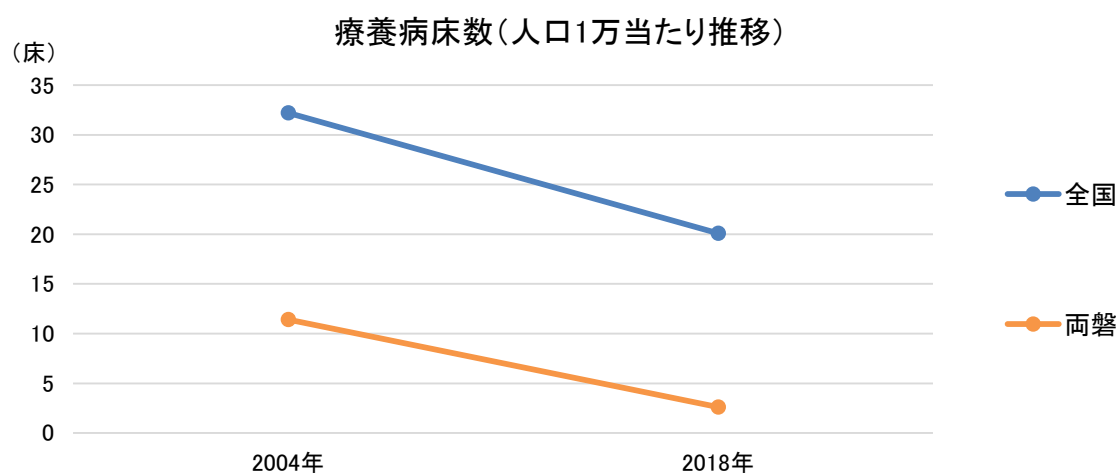
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1,576床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2018年に1,203床(人口1万人当たり93(全国平均77)偏差値56)と、373床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



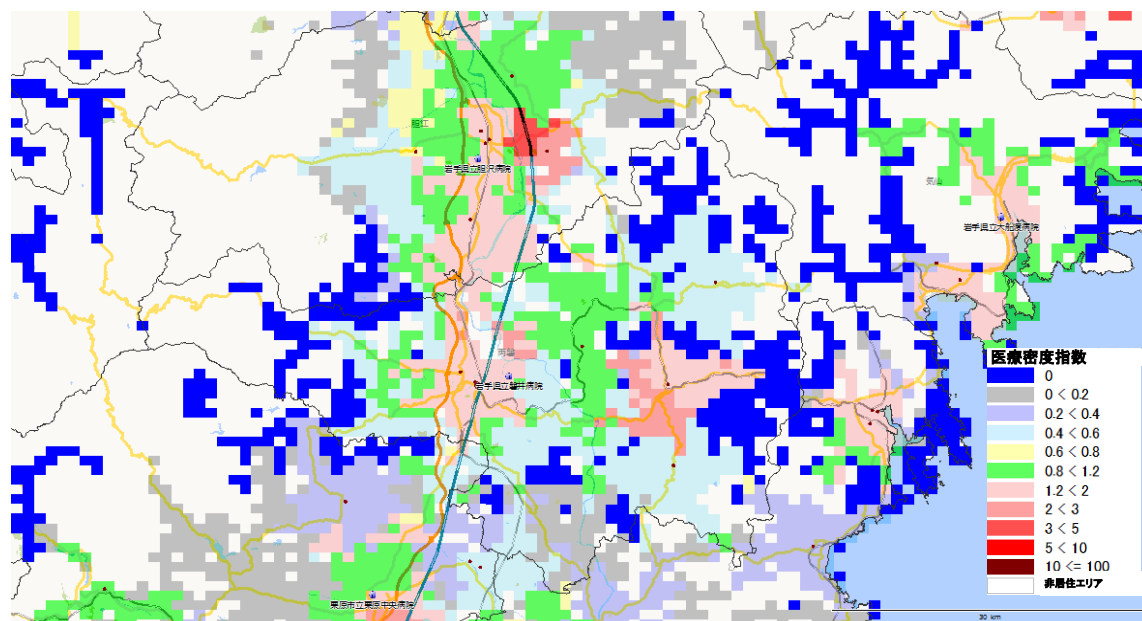
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が233床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2018年に64床(75歳以上1,000人当たり3(全国平均20)偏差値34)と、169床の減少、率にして73%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



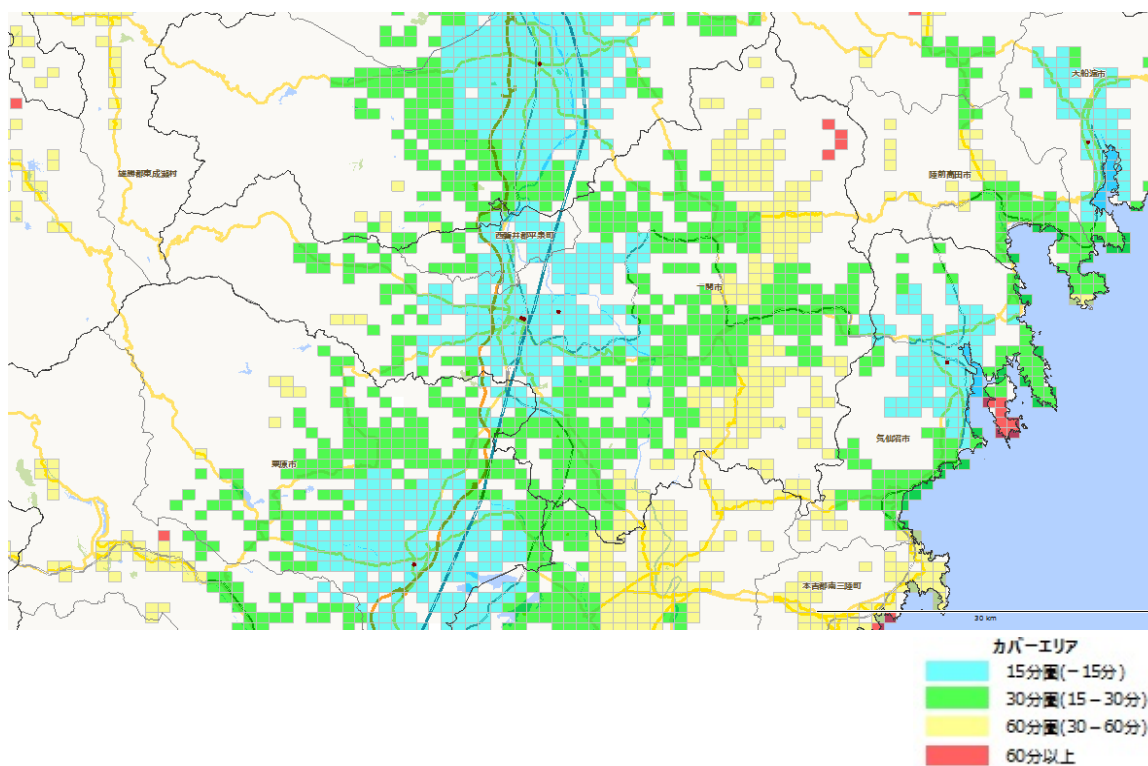
(両磐医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-4-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）

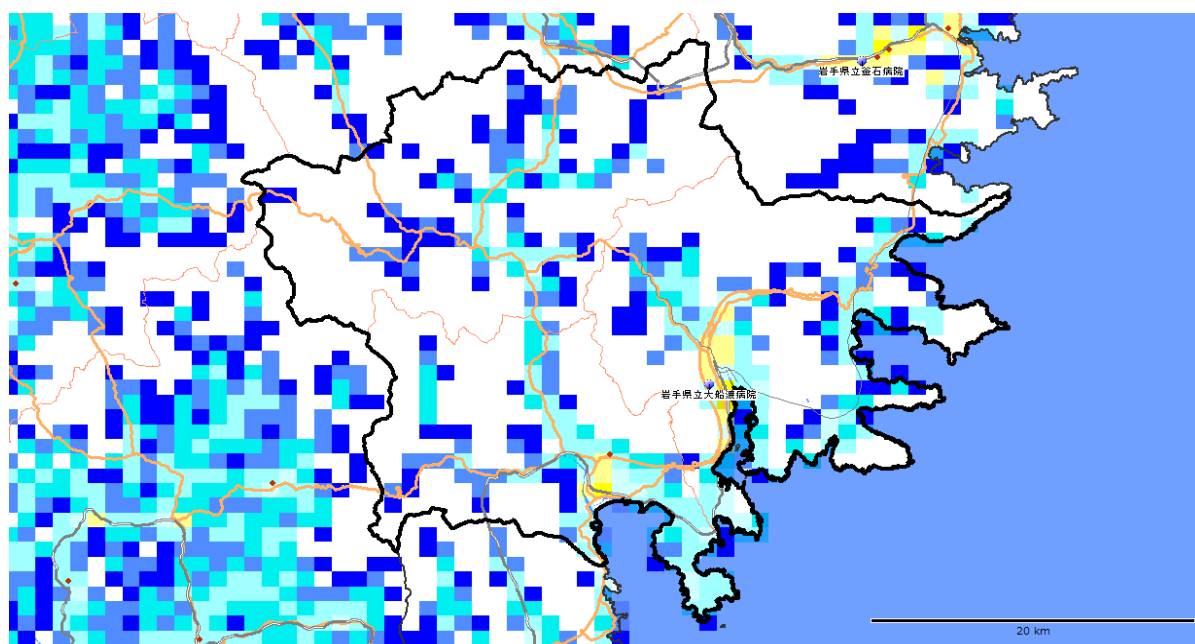


3-5. け せ ん 気仙医療圏

構成市区町村 [大船渡市](#) [陸前高田市](#) [住田町](#)

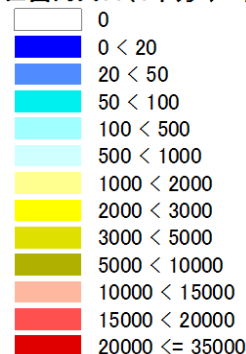
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(気仙医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 気仙(大船渡市)は、総人口約64千人(2015年)、面積889km²、人口密度は71人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 気仙の総人口は2025年に54千人へと減少し(2015年比－16%)、2040年に40千人へと減少する(2025年比－26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて14千人へと増加し(2015年比＋17%)、2040年には13千人へと減少する(2025年比－7%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 気仙の一人当たり医療費(国保)は395千円(偏差値59)、介護給付費は282千円(偏差値58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 気仙の一人当たり急性期医療密度指数は1.03、一人当たり慢性期医療密度指数は0.23で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が40(病院医師数41、診療所医師数39)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は38と少ない。気仙には、年間全身麻酔件数が500例以上の岩手県立大船渡病院(Ⅲ群・救命)がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は42と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値35と少なく、回復期病床数は0である。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は52で精神病床数は全国平均レベルである。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は38で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 気仙の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、978人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が868床(偏差値57)、高齢者住宅等が110床(偏差値28)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、897人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設58、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム41、サ高住32である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、110人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(気仙医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

気仙医療圏の総人口は、2005年74,888人が、2015年に63,536人と15%減少し、2025年の人口が54,139人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

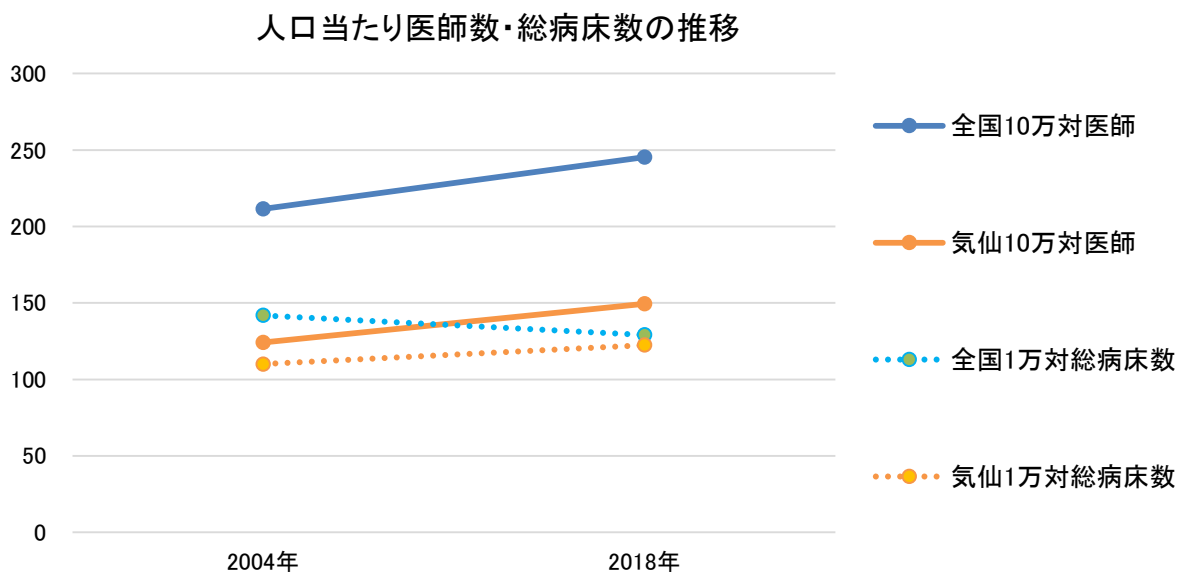
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり5.3病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2018年に3(人口10万人当たり4.7病院(全国平均6.6)偏差値45)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が44(人口10万人当たり59診療所(全国平均76)偏差値41)であったが、2018年に37(人口10万人当たり58診療所(全国平均80)偏差値38)と、7診療所が減少した。

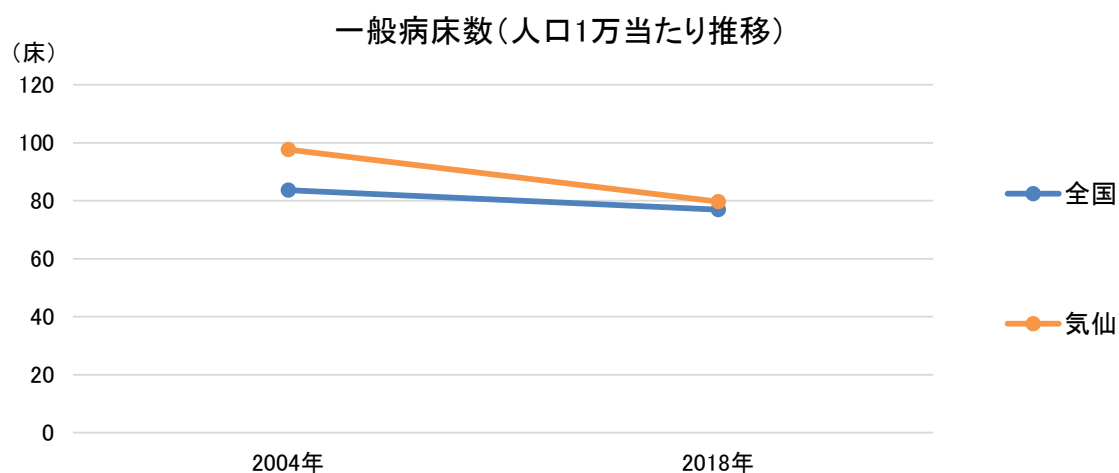
2004年の総病床数が824床(人口1万人当たり110(全国平均142)偏差値44)であったが、2018年に778床(人口1万人当たり122(全国平均129)偏差値49)と、46床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が93人(人口10万人当たり124人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2018年に95人(人口10万人当たり150人(全国平均245人)偏差値40)と、2人の増加、率にして2%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



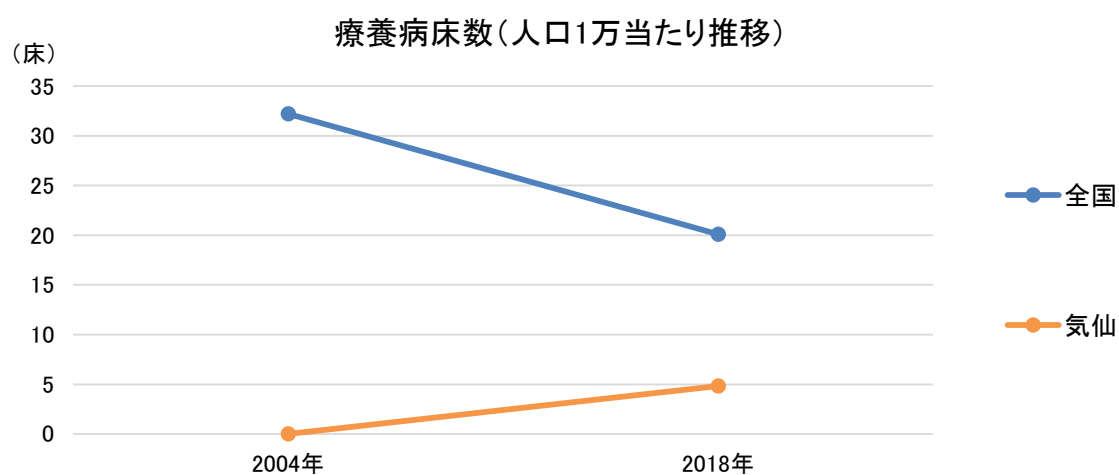
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が731床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2018年に506床(人口1万人当たり80(全国平均77)偏差値51)と、225床の減少、率にして31%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



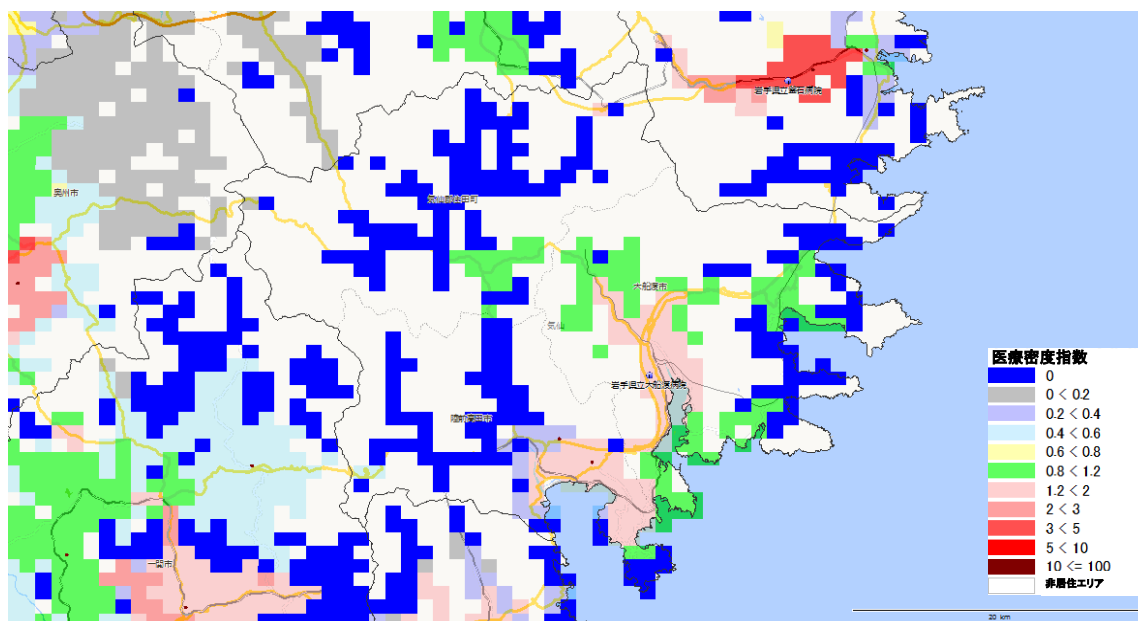
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が0床(75歳以上1,000人当たり0(全国平均32)偏差値32)であったが、2018年に60床(75歳以上1,000人当たり5(全国平均20)偏差値36)と、増加した(全国平均12%の減少)。



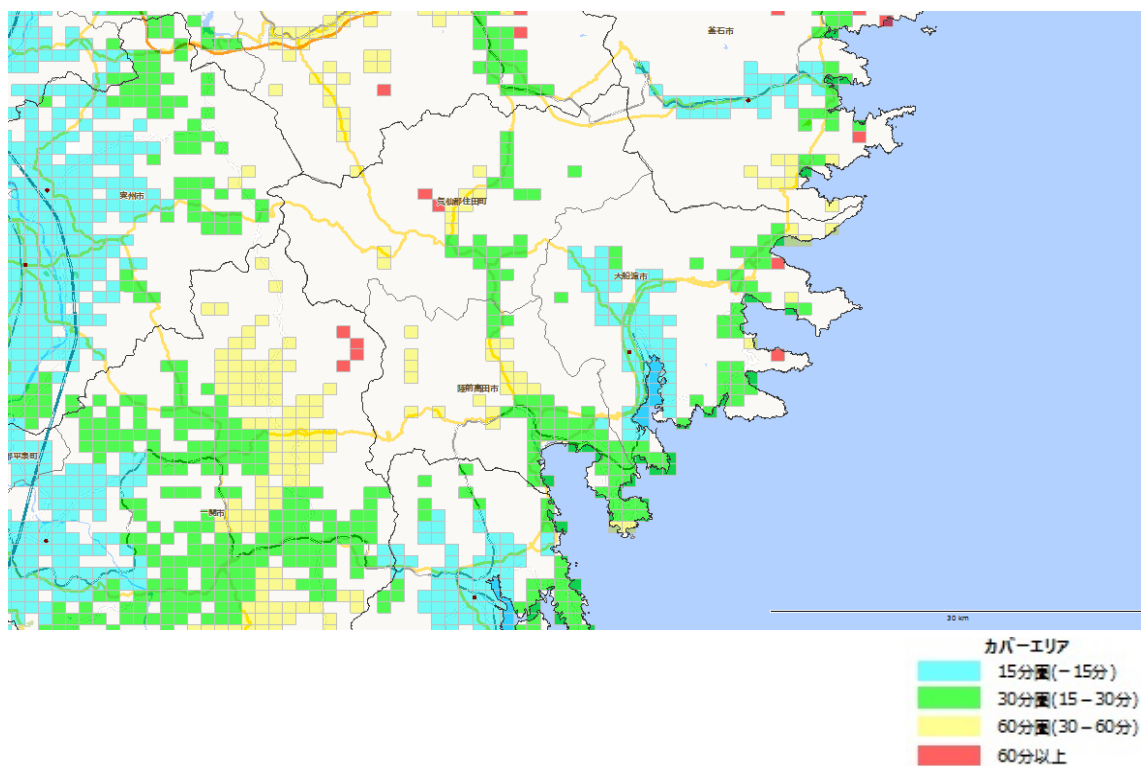
(気仙医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

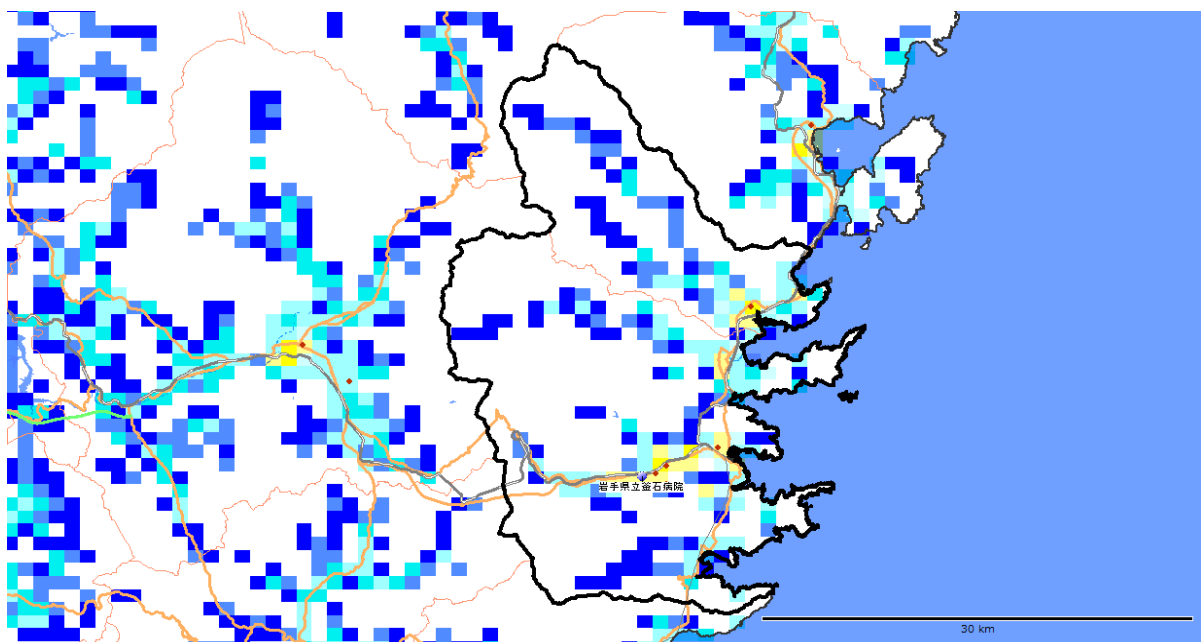
※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）



3-6. か ま い し 釜石医療圏

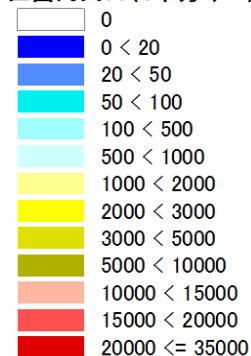
構成市区町村 [釜石市](#)[大槌町](#)

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)

1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(釜石医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 釜石(釜石市)は、総人口約49千人(2015年)、面積641km²、人口密度は76人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 釜石の総人口は2025年に41千人へと減少し(2015年比－16%)、2040年に30千人へと減少する(2025年比－27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の9千人が、2025年にかけて10千人へと増加し(2015年比＋11%)、2040年には8千人へと減少する(2025年比－20%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 釜石の一人当たり医療費(国保)は449千円(偏差値71)、介護給付費は263千円(偏差値52)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 釜石の一人当たり急性期医療密度指数は1.73、一人当たり慢性期医療密度指数は0.75で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が36(病院医師数38、診療所医師数34)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は81で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。釜石には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値43と少なく、回復期病床数は0である。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は58で精神病床数は多い。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 釜石の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、785人(75歳以上1,000人当たりの偏差値38)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が668床(偏差値59)、高齢者住宅等が117床(偏差値30)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、728人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設64、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム50、サ高住なし(偏差値30)である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、73人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－4%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(釜石医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

釜石医療圏の総人口は、2005年59,503人が、2015年に48,561人と18%減少し、2025年の人口が41,242人と予測され、2005年→2025年の間に31%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

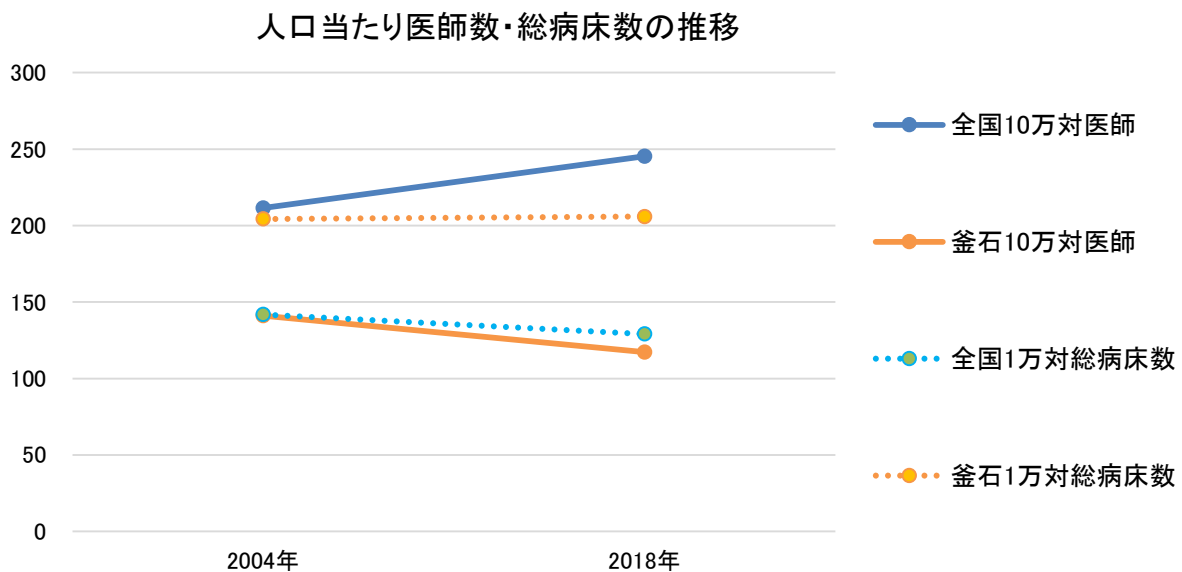
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり10.1病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2018年に6(人口10万人当たり12.4病院(全国平均6.6)偏差値65)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が28(人口10万人当たり47診療所(全国平均76)偏差値36)であったが、2018年に25(人口10万人当たり51診療所(全国平均80)偏差値35)と、3診療所が減少した。

2004年の総病床数が1,216床(人口1万人当たり204(全国平均142)偏差値61)であったが、2018年に1,000床(人口1万人当たり206(全国平均129)偏差値64)と、216床の減少、率にして18%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

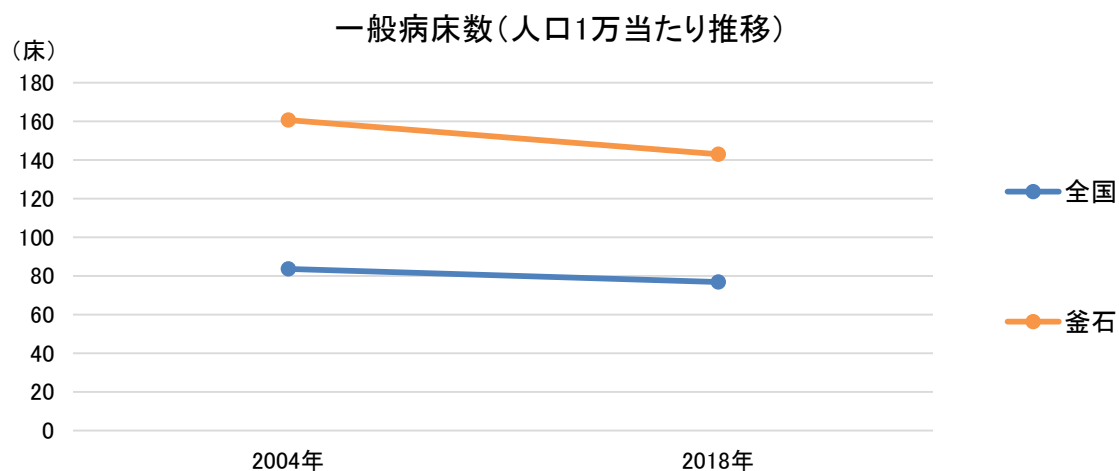
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が84人(人口10万人当たり141人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に57人(人口10万人当たり117人(全国平均245人)偏差値36)と、27人の減少、率にして32%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



3.岩手県(2019年版)

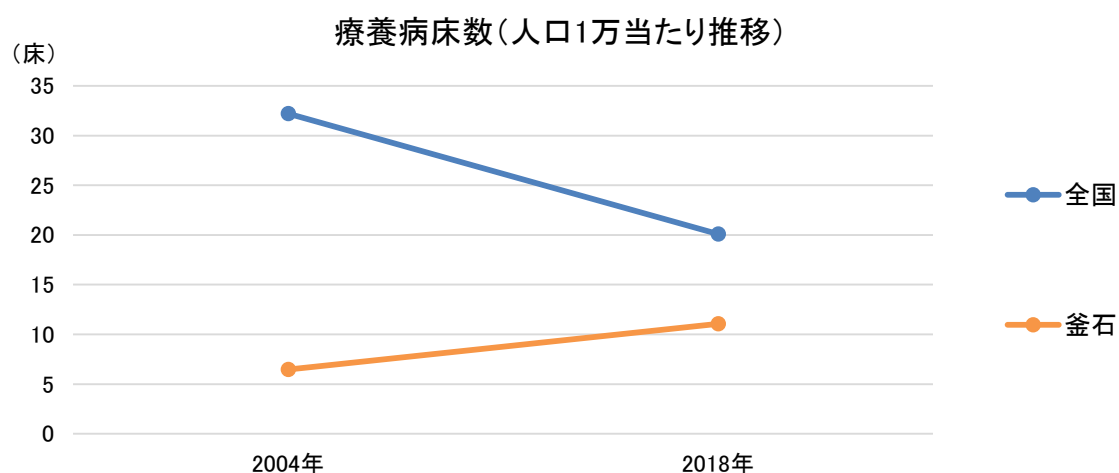
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が956床(人口1万人当たり161(全国平均84)偏差値77)であったが、2018年に694床(人口1万人当たり143(全国平均77)偏差値76)と、262床の減少、率にして27%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



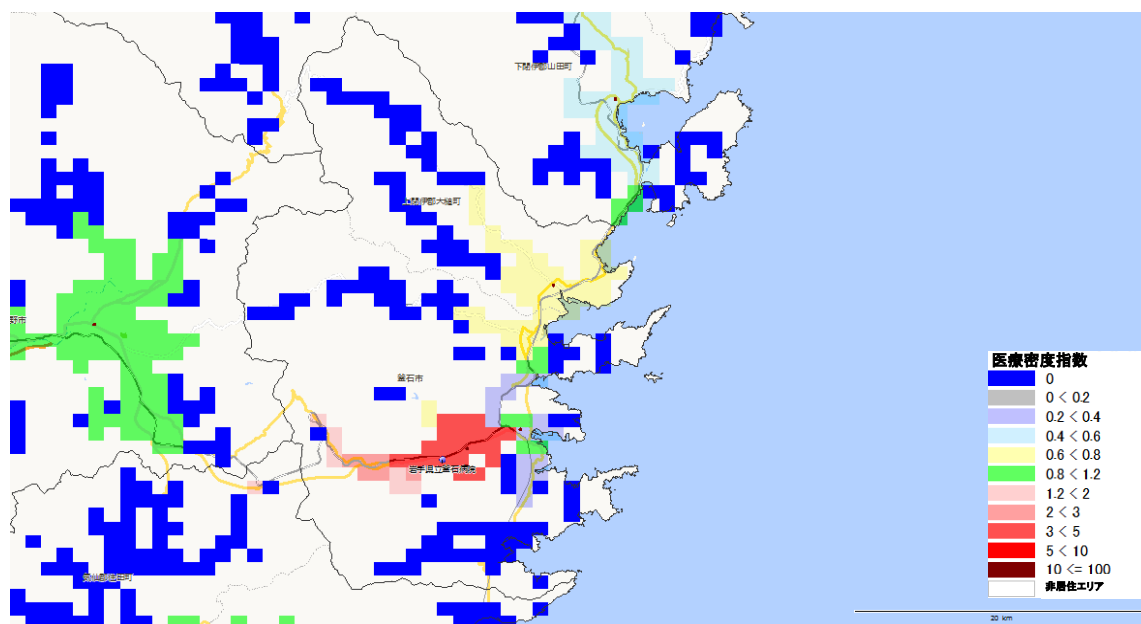
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が54床(75歳以上1,000人当たり6(全国平均32)偏差値35)であったが、2018年に102床(75歳以上1,000人当たり11(全国平均20)偏差値42)と、48床の増加、率にして89%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



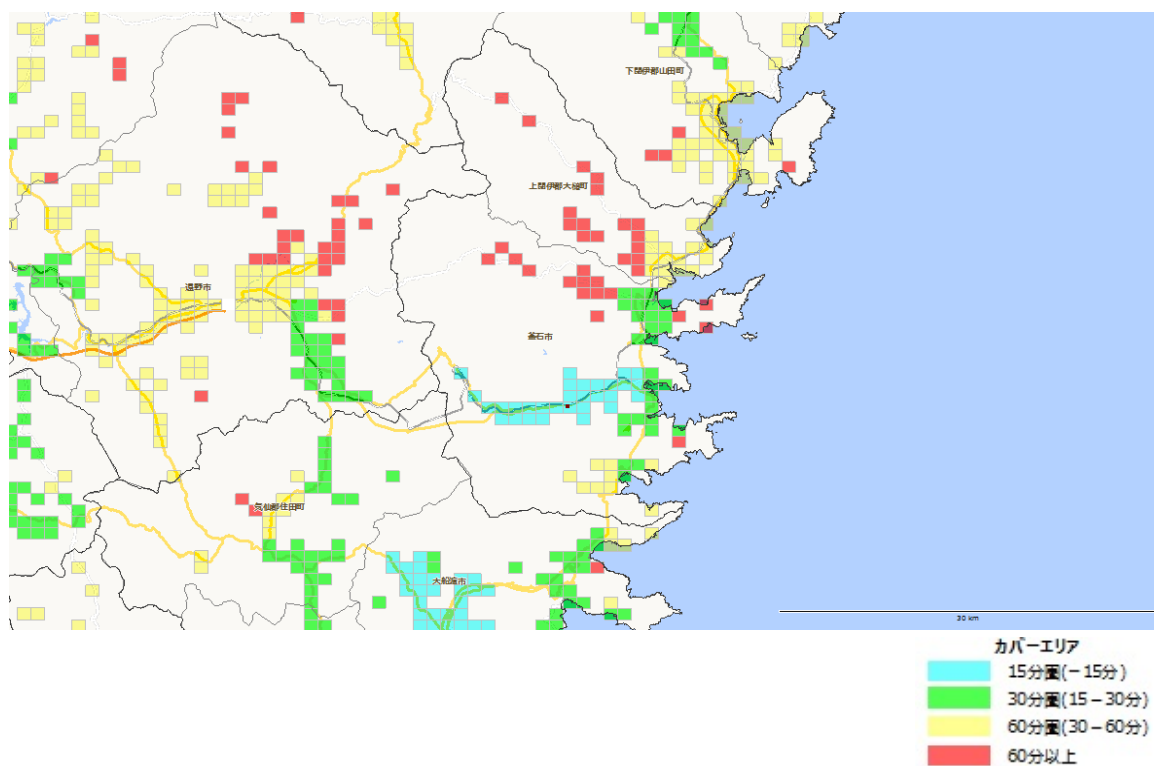
(釜石医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）

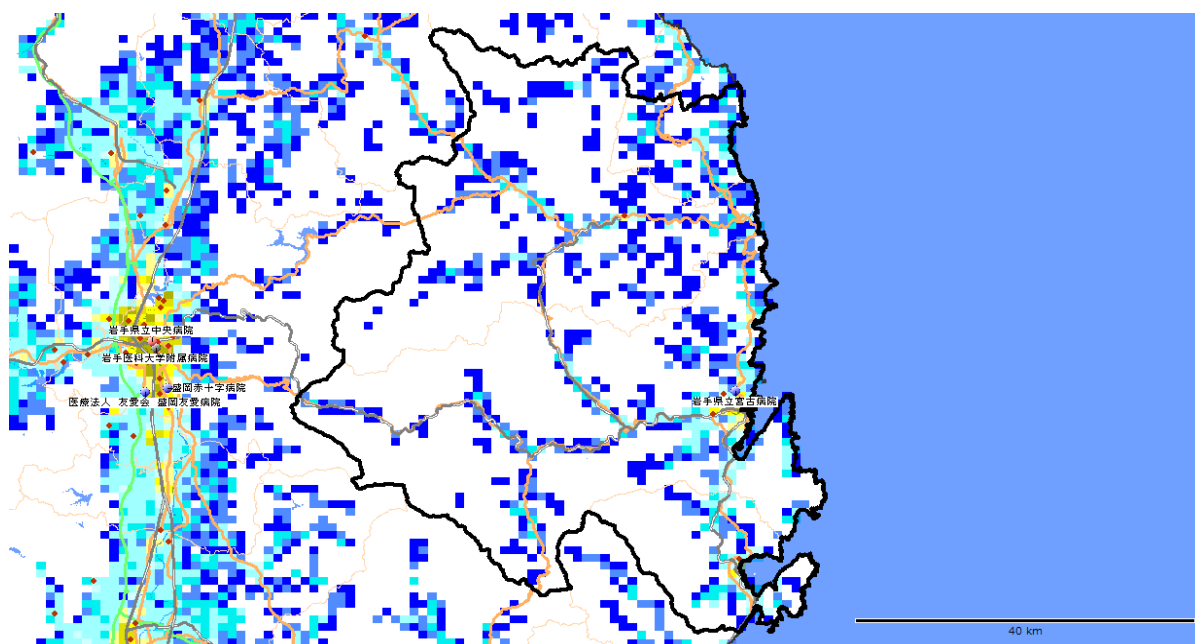


3-7. みやこ 宮古医療圏

構成市区町村 [宮古市](#) [山田町](#) [岩泉町](#) [田野畑村](#)

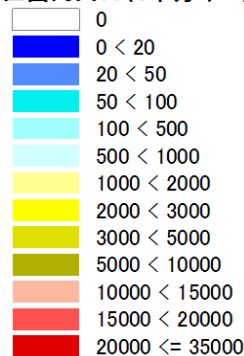
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(宮古医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 宮古(宮古市)は、総人口約86千人(2015年)、面積2,671km²、人口密度は32人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 宮古の総人口は2025年に73千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に54千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて17千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には15千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 宮古の一人当たり医療費(国保)は401千円(偏差値60)、介護給付費は291千円(偏差値61)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 宮古の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は1.04で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が35(病院医師数37、診療所医師数33)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は30と非常に少ない。宮古には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値56と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は70で精神病床数は非常に多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は35で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 宮古の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,251人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が978床(偏差値49)、高齢者住宅等が273床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,374人(75歳以上1,000人当たりの偏差値56)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム53、サ高住31である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値34と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値46とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、144人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(宮古医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

宮古医療圏の総人口は、2005年99,885人が、2015年に85,809人と14%減少し、2025年の人口が73,042人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

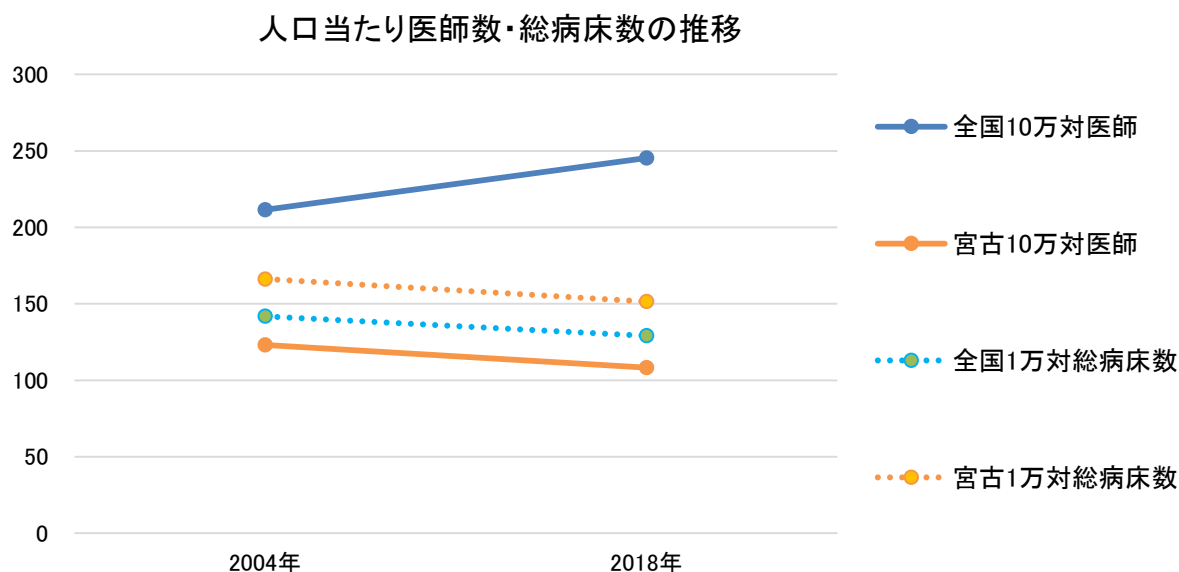
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が7(人口10万人当たり7病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2018年に6(人口10万人当たり7病院(全国平均6.6)偏差値51)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が54(人口10万人当たり54診療所(全国平均76)偏差値39)であったが、2018年に45(人口10万人当たり52診療所(全国平均80)偏差値35)と、9診療所が減少した。

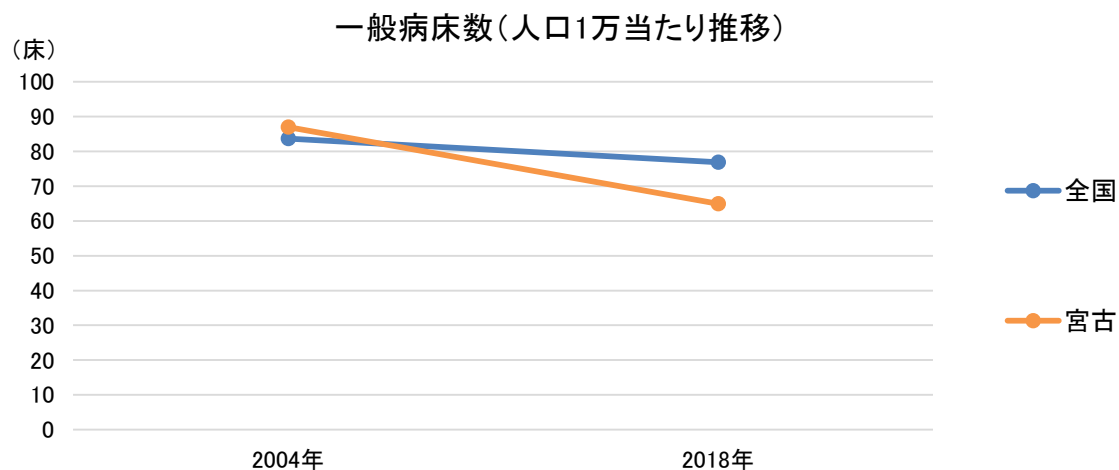
2004年の総病床数が1,660床(人口1万人当たり166(全国平均142)偏差値54)であったが、2018年に1,300床(人口1万人当たり151(全国平均129)偏差値54)と、360床の減少、率にして22%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が123人(人口10万人当たり123人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2018年に93人(人口10万人当たり108人(全国平均245人)偏差値35)と、30人の減少、率にして24%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



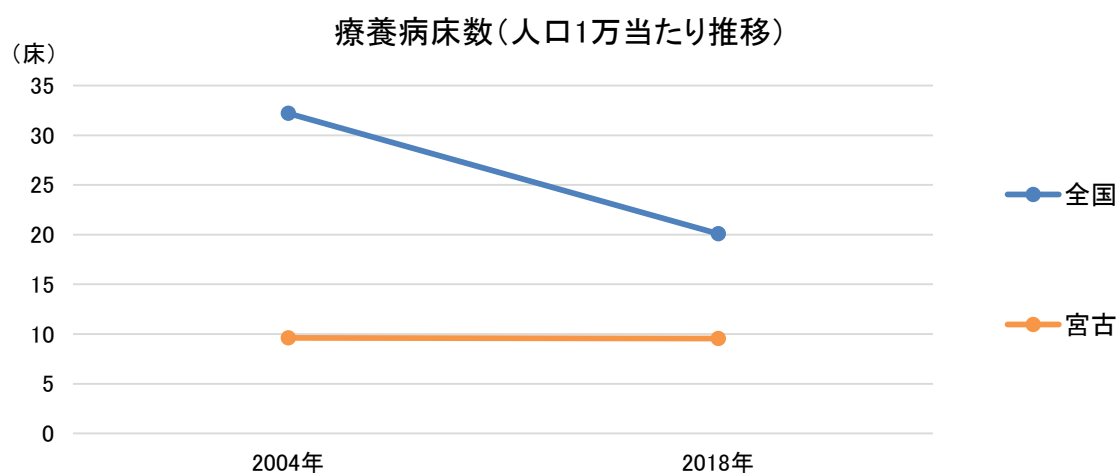
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が869床(人口1万人当たり87(全国平均84)偏差値51)であったが、2018年に557床(人口1万人当たり65(全国平均77)偏差値45)と、312床の減少、率にして36%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



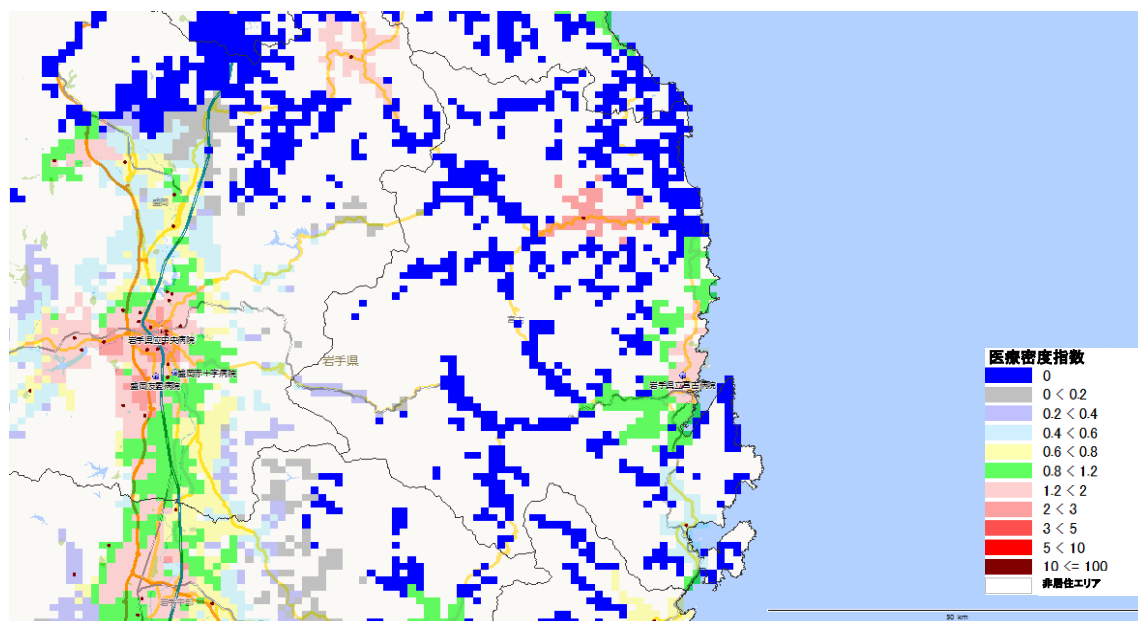
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が127床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均32)偏差値37)であったが、2018年に154床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値40)と、27床の増加、率にして21%の増加(全国平均12%の減少)が見られた。



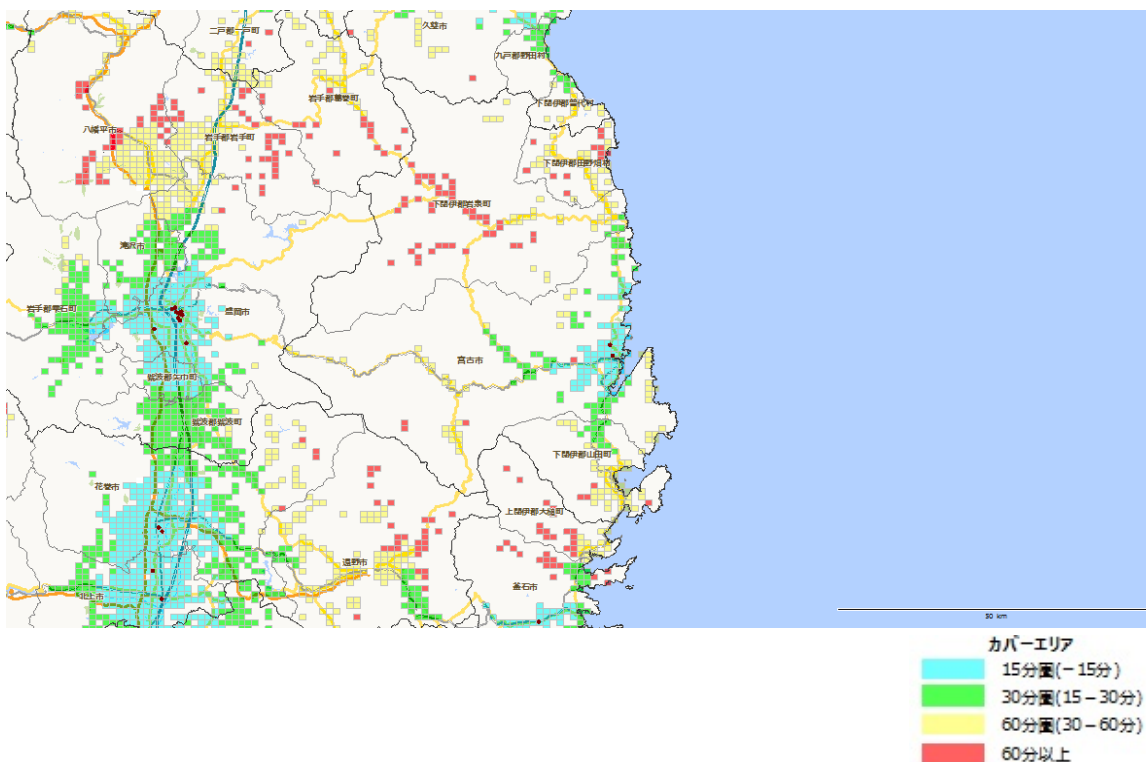
(宮古医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

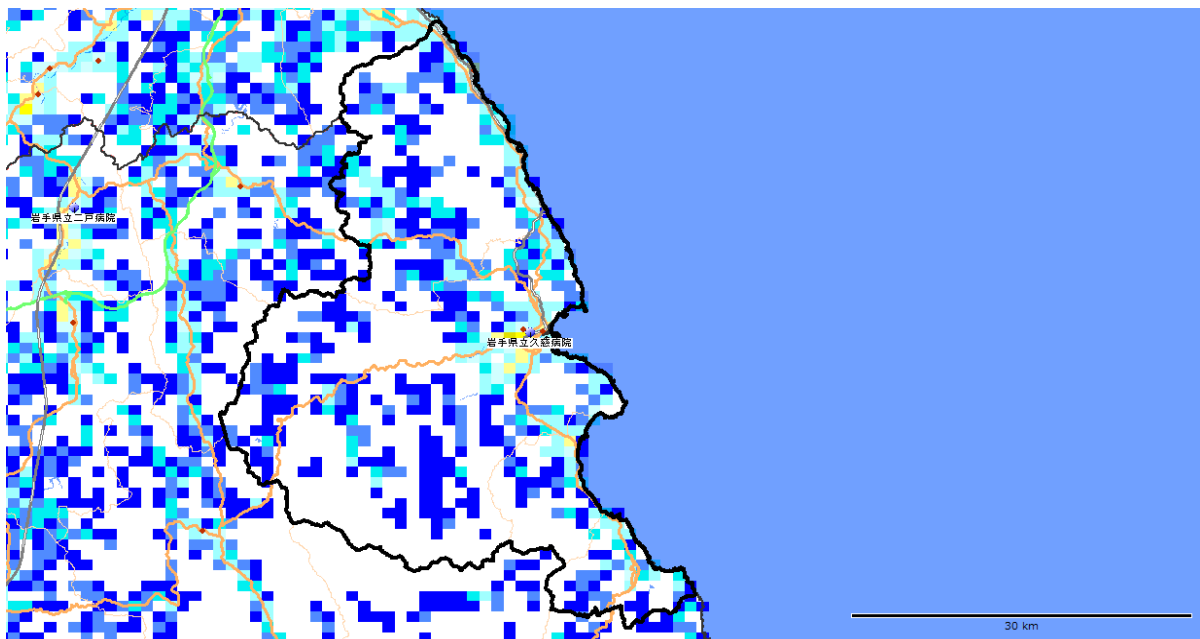


3-8. ^く久慈^じ医療圏

構成市区町村 [久慈市](#) [普代村](#) [野田村](#) [洋野町](#)

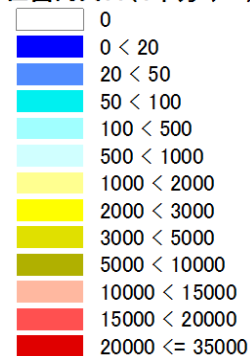
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所：国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS Market
 Analyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(久慈医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 久慈(久慈市)は、総人口約59千人(2015年)、面積1,077km²、人口密度は55人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 久慈の総人口は2025年に52千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に40千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の10千人が、2025年にかけて11千人へと増加し(2015年比+10%)、2040年には12千人へと増加する(2025年比+9%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 久慈の一人当たり医療費(国保)は347千円(偏差値48)、介護給付費は263千円(偏差値52)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 久慈の一人当たり急性期医療密度指数は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数は0.41で、急性期の医療も慢性期の医療もかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が37(病院医師数40、診療所医師数32)と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。久慈には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値39と少なく、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は37で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 久慈の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,052人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が880床(偏差値68)、高齢者住宅等が172床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、916人(75歳以上1,000人当たりの偏差値58)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設77、特別養護老人ホーム58、介護療養型医療施設46、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住38である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値27と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、51人(75歳以上1,000人当たりの偏差値34)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数は+9%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(久慈医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

久慈医療圏の総人口は、2005年67,042人が、2015年に59,279人と12%減少し、2025年の人口が51,654人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

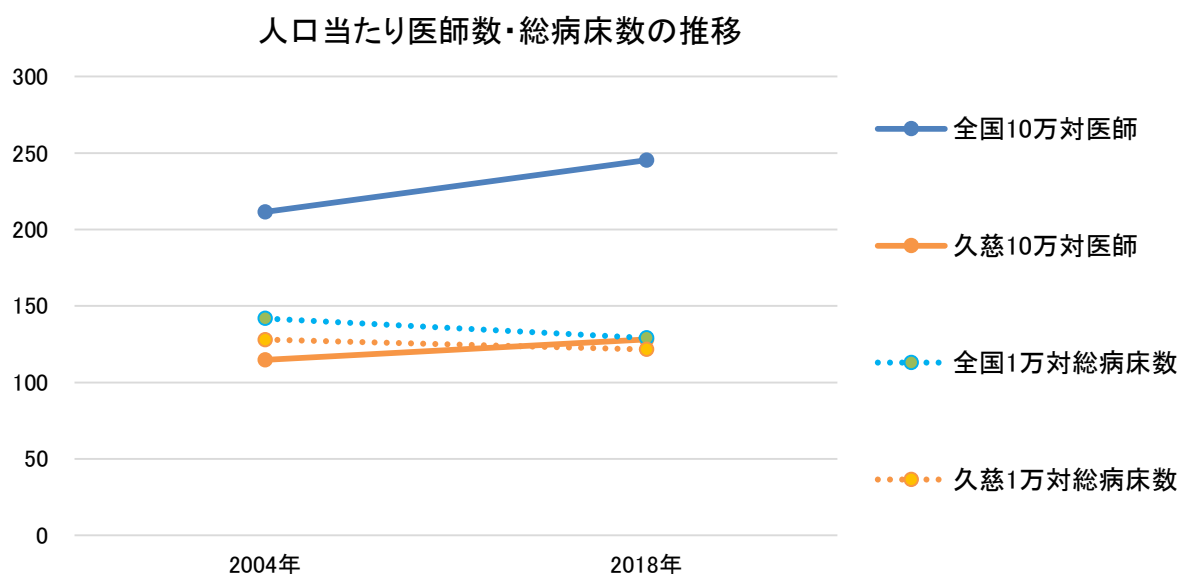
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2018年に4(人口10万人当たり6.7病院(全国平均6.6)偏差値50)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が29(人口10万人当たり43診療所(全国平均76)偏差値34)であったが、2018年に33(人口10万人当たり56診療所(全国平均80)偏差値37)と、4診療所が増加した。

2004年の総病床数が858床(人口1万人当たり128(全国平均142)偏差値48)であったが、2018年に721床(人口1万人当たり122(全国平均129)偏差値49)と、137床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

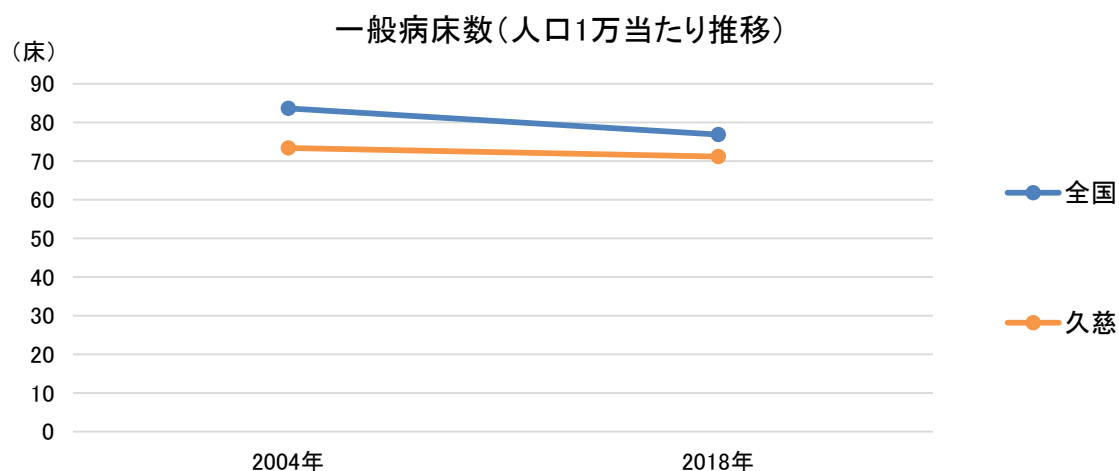
2004年には病院と診療所合わせての総医師数が77人(人口10万人当たり115人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2018年に76人(人口10万人当たり128人(全国平均245人)偏差値37)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



3.岩手県(2019年版)

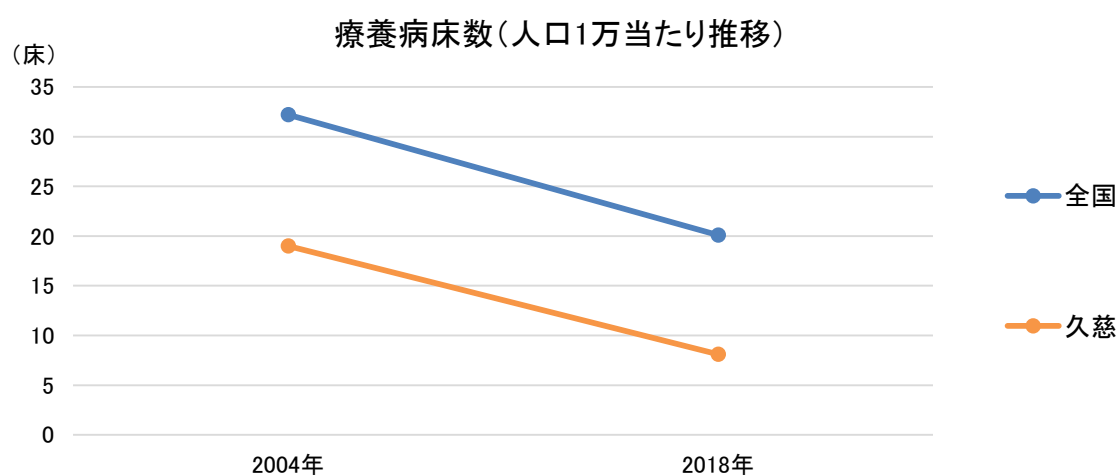
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が492床(人口1万人当たり73(全国平均84)偏差値46)であったが、2018年に422床(人口1万人当たり71(全国平均77)偏差値48)と、70床の減少、率にして14%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



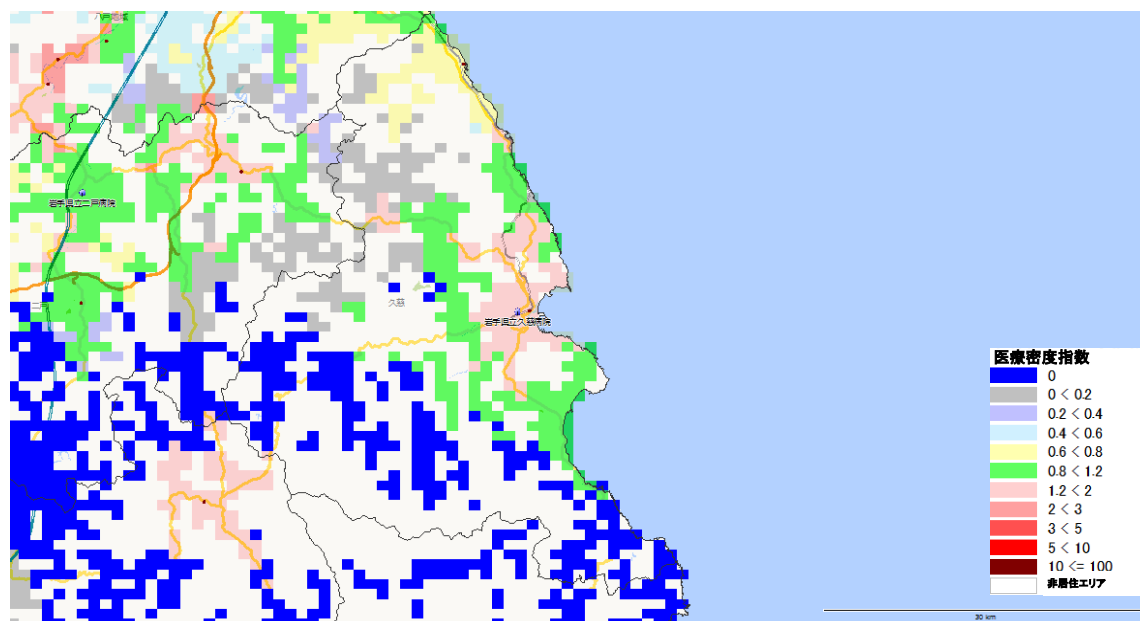
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が147床(75歳以上1,000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2018年に85床(75歳以上1,000人当たり8(全国平均20)偏差値39)と、62床の減少、率にして42%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



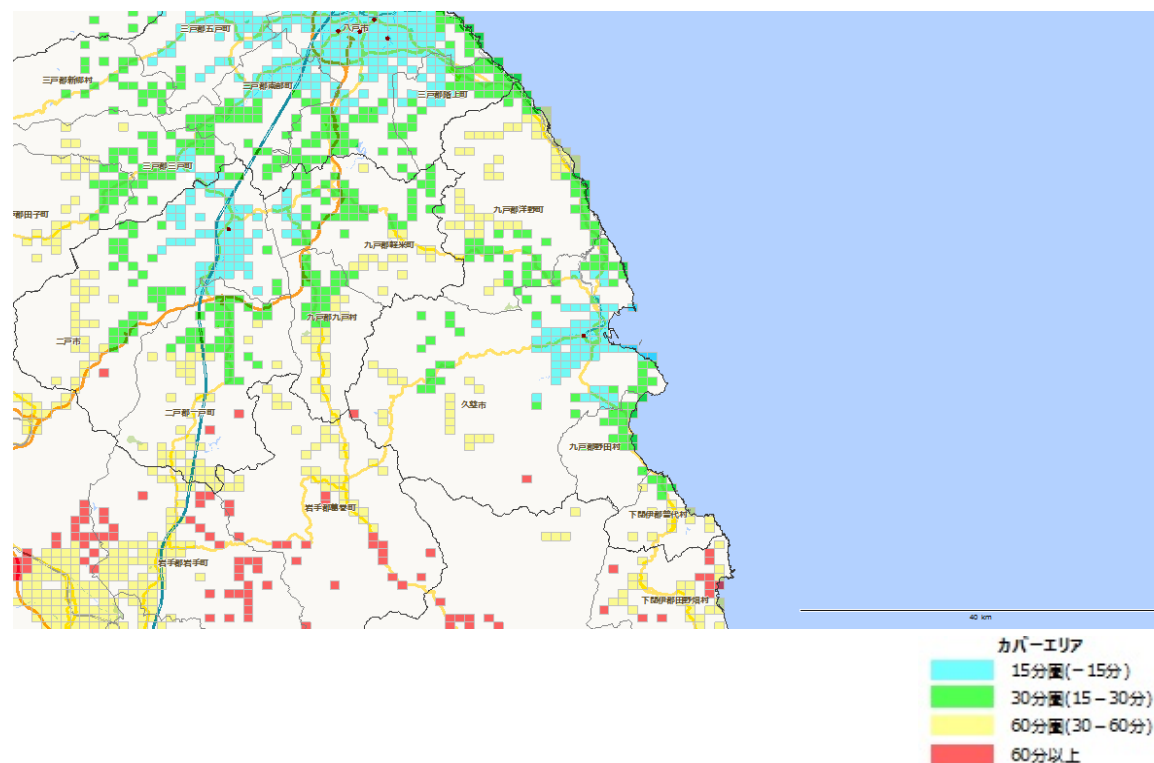
(久慈医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-8-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - （2017年度版）序章参照（日医総研WP no. 400）」）

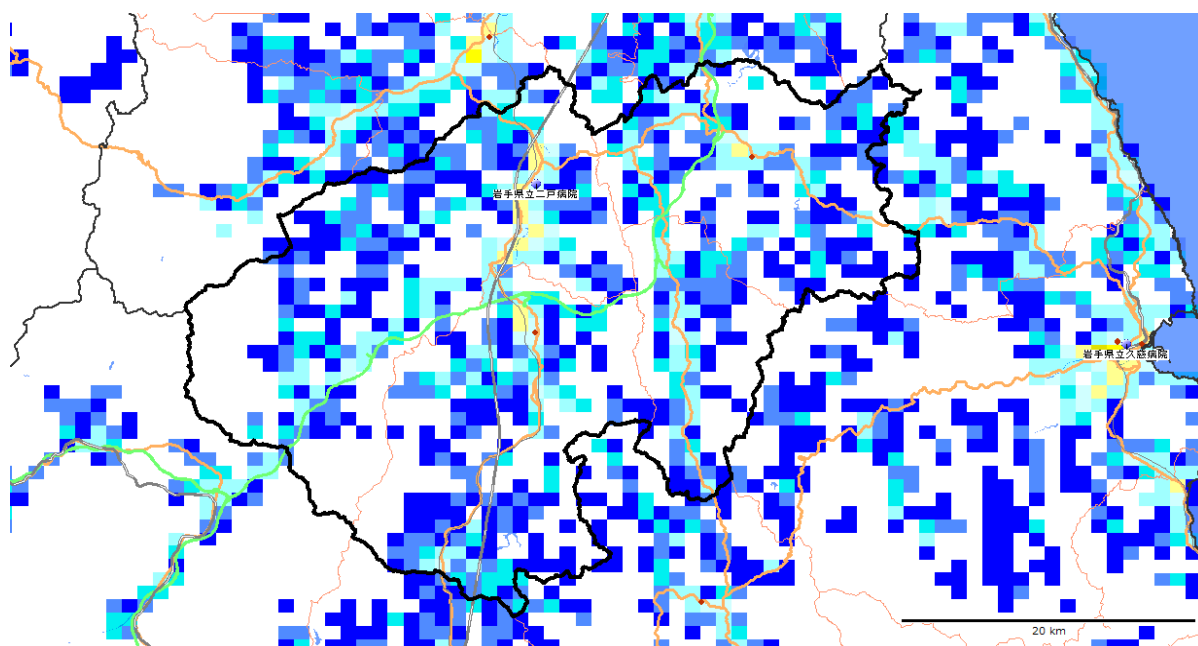


3-9. に の へ 二戸医療圏

構成市区町村 二戸市 軽米町 九戸村 一戸町

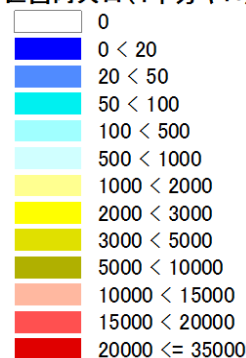
※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布(1km²区画単位)



1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。
 赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は
 中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が
 少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
 出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報GIS Market
 Analyzer ver. 3.7 地図 PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(二戸医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 二戸(二戸市)は、総人口約56千人(2015年)、面積1,100km²、人口密度は51人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 二戸の総人口は2025年に46千人へと減少し(2015年比-18%)、2040年に33千人へと減少する(2025年比-28%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の11千人が、2025年にかけて11千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には10千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 二戸の一人当たり医療費(国保)は341千円(偏差値47)、介護給付費は303千円(偏差値64)であり、医療費はやや低い、介護給付費は高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 二戸の一人当たり急性期医療密度指数は0.94、一人当たり慢性期医療密度指数は0.39で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39(病院医師数41、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は34と非常に少ない。二戸には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は0である。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 二戸の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,011人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が862床(偏差値62)、高齢者住宅等が149床(偏差値31)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、929人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホーム37、軽費ホーム73、グループホーム39、サ高住なし(偏差値30)である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は存在せず、在宅療養支援病院も存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値26と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、95人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は+8%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(二戸医療圏) 2. 推移

【人口と医療需要】

二戸医療圏の総人口は、2005年64,997人が、2015年に55,728人と14%減少し、2025年の人口が46,104人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

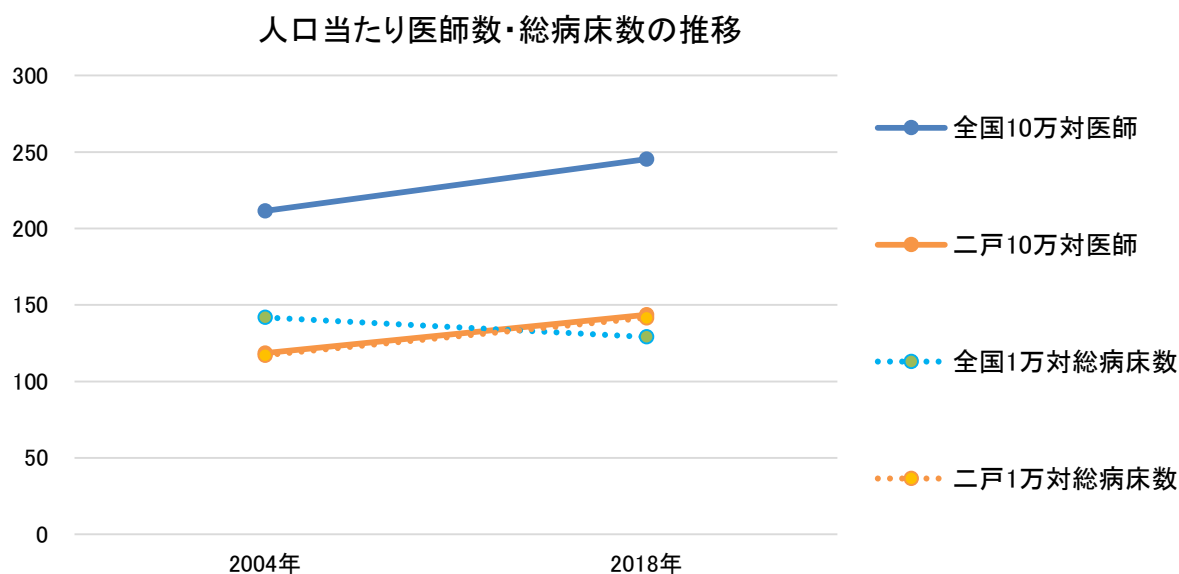
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり6.2病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2018年に3(人口10万人当たり5.4病院(全国平均6.6)偏差値47)となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が30(人口10万人当たり46診療所(全国平均76)偏差値35)であったが、2018年に36(人口10万人当たり65診療所(全国平均80)偏差値42)と、6診療所が増加した。

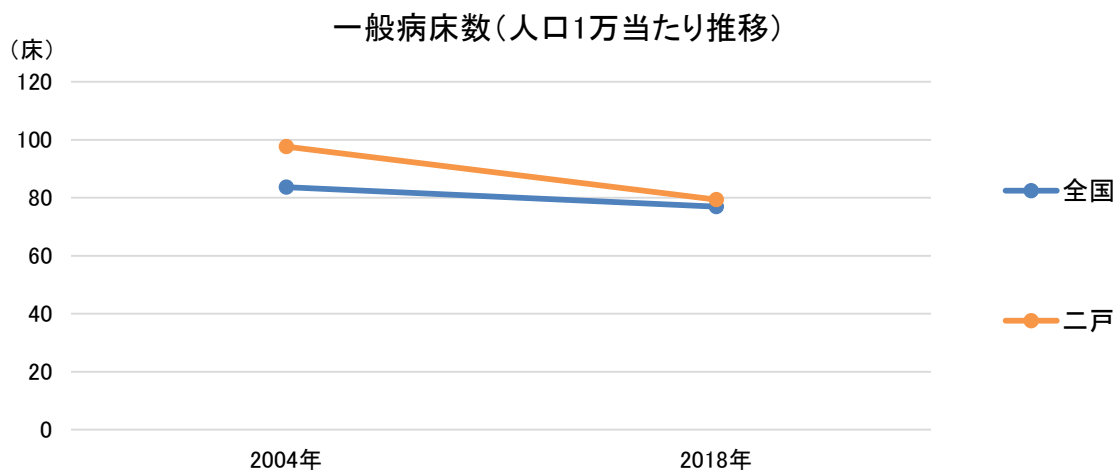
2004年の総病床数が761床(人口1万人当たり117(全国平均142)偏差値46)であったが、2018年に789床(人口1万人当たり142(全国平均129)偏差値52)と、28床の増加、率にして4%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が77人(人口10万人当たり118人(全国平均212人)偏差値39)であったが、2018年に80人(人口10万人当たり144人(全国平均245人)偏差値39)と、3人の増加、率にして4%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



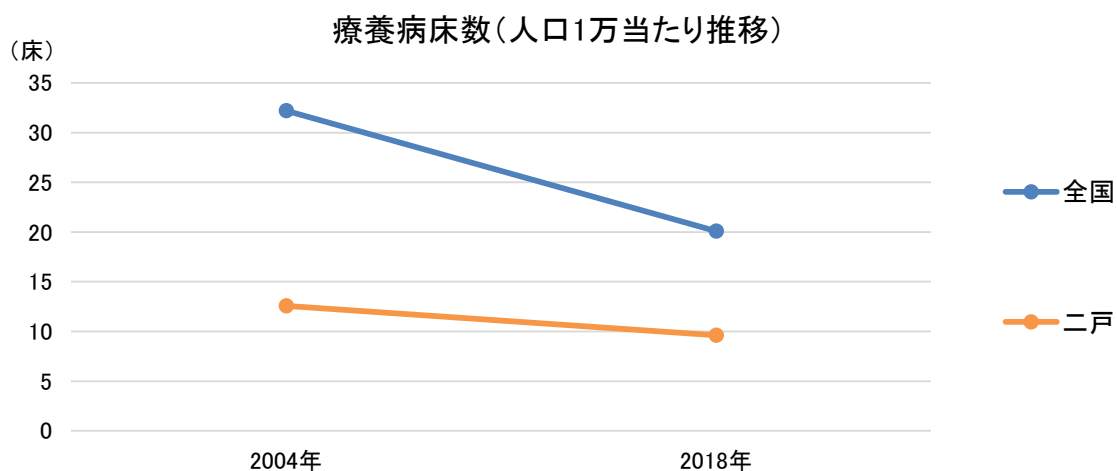
【一般病床の推移】

2004年の一般病床(病院+診療所)が635床(人口1万人当たり98(全国平均84)偏差値55)であったが、2018年に442床(人口1万人当たり79(全国平均77)偏差値51)と、193床の減少、率にして30%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。



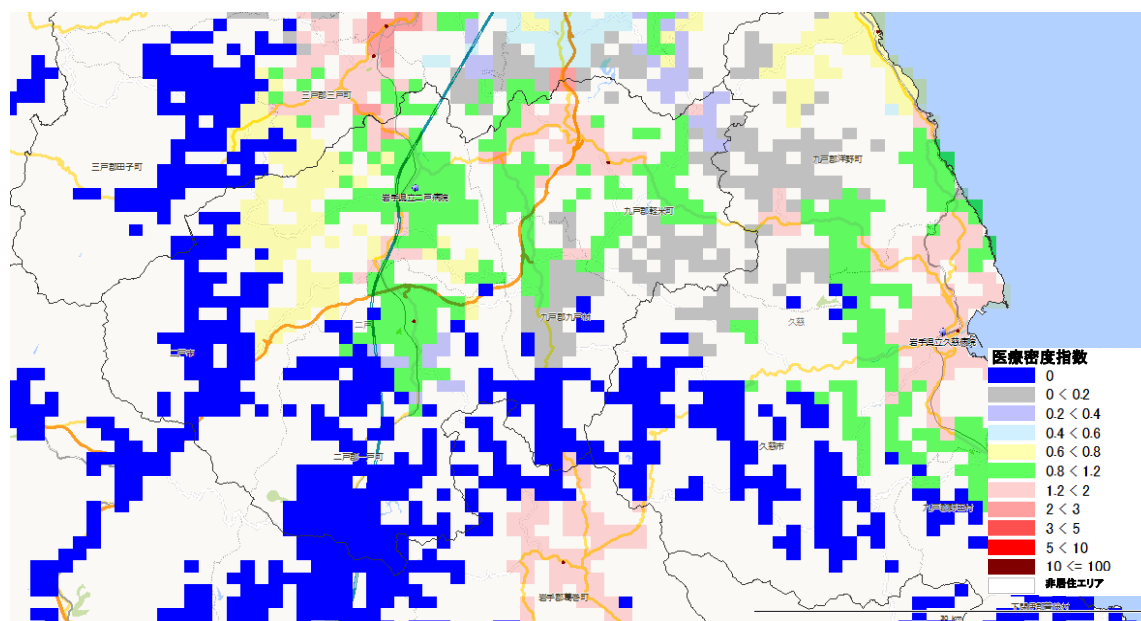
【療養病床の推移】

2004年の療養病床(病院+診療所)が116床(75歳以上1,000人当たり13(全国平均32)偏差値39)であったが、2018年に108床(75歳以上1,000人当たり10(全国平均20)偏差値41)と、8床の減少、率にして7%の減少(全国平均12%の減少)が見られた。



(二戸医療圏) 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表3-9-1 急性期医療密度指数マップ



図表3-9-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1kmメッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1kmメッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 - 都道府県別・二次医療圏別データ集 - (2017年度版) 序章参照（日医総研WP no. 400）」）

